

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人

東村山市社会福祉協議会

令和4年度（2022年度）事業報告

新型コロナウイルス感染症の長期化は、地域活動に様々な見直しを迫り、大きな影響をもたらしました。また、地域では生活困窮や社会的孤立の問題がさらに深刻化しています。

このような社会情勢のなか、東村山市社会福祉協議会では本会が持つ幅広いネットワークを活かし、地域における見守りや助け合いを推進し、一人ぼっちなない町の実現に取り組みました。先ず、令和4年度重点目標に沿った形で事業概要を報告します。

1. コロナ禍の経験を生かした地域福祉活動の展開

オンラインでのコミュニケーションが一般的になりました。ボランティアセンターでは引き続き「オンラインおためし講座」を開催することにより、講座やイベントにオンラインで気軽に参加・交流できる機会を作りました。

2. 地域共生社会の実現を目指した個別支援と地域支援の一体的な推進

地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と地域が『丸ごと』つながる社会を目指すため、小規模な地域懇談会を開催し、住民と一緒に地域の課題を解決するための協働に取り組みました。また、個別の課題を地域で支える働きかけを行い、具体的な活動につながっています。

3. 全職員による地域課題の解決に向けた情報の発信と活動財源確保の取り組み

地域課題の問題や原因を図式化し解決法を導き出す研修を継続的に実施し、全職員に向けて社協が取り組むべき社会課題を発表しました。今後、具体的な事業の取り組みに向けて必要な財源確保を含めた検討を続けて行くことを確認することが出来ました。

4. 第5次地域福祉活動計画の推進と第6次計画の策定準備

第5次計画では重点アクション②の『まちなか護美プロジェクト』を、様々な主体に活動していただいた結果、13町で活動することが出来ました。また、第6次計画の策定に向けて、令和5年1月に策定委員会を立ち上げスタートを切ることが出来ました。

5. 市民の利便性向上と業務の効率化を目指したICT化の検討

コロナ禍におけるデジタル活用では事務所内の通信インフラの整備に試みましたが、改善の余地が残ってしまい、引き続き改善に努めて行くことになりました。

以下、令和4年度に掲げた事業計画に沿って、主たる活動内容を報告いたします。

I 福祉のまちづくり事業

1 地域福祉活動推進事業

(1) 地域福祉コーディネーター（CSW）機能の推進（発展・強化計画関連事業）

住民ニーズであった子ども食堂のネットワーク構築やひきこもりの家族会立上げ支援など、社協内他係と協働して取り組んだ。また、若年性認知症及びヤングケアラー支援についても、市内地域包括支援センターとの協働で情報交換会を開催した。令和3年度から係内でもモデル地区担当職員を中心として月例会議を設け、地域アセスメントの考察や地域福祉コーディネーター視点での事例検討や、住民に向けた周知のためのチラシ作成等を行った。

(2) 福祉協力員会活動の推進 【協力員数 528名 ※令和5年3月31日現在】

新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底や会食等の制限は続くが、様々な行動制限が緩和され地域活動が再スタートし始めた。各町で出席人数の上限を定めてではあるが、協力員研修も開催できた。

①地区長会の開催

回	日時・会場	内 容
1	4/27(水) 13:30～15:00	1. 令和4年度社協組織体制 2. 東村山社協が福祉協力員会と共に目指す地域づくり 3. 前年度報告書、今年度計画書等と活動費の交付 4. 募金運動と社協会員会費 5. 各町からのトピックス
2	2/10(金)降雪により中止 右記に係る書面開催に変更	1. 福祉協力員の改選 2. 令和4年度事業報告・決算報告 令和5年度事業計画・予算案書の提出 3. 今後の長寿を共に祝う会について 4. お知らせ

②研修会の開催

回	日時・会場	内 容
1	令和5年 3/10(金) 13:30～15:00	1. 社協補助金財源 2. 福祉協力員会 会計の手引き改訂説明

③13町ごとの活動

町名	活動内容	
本 町	○協力員バス研修 (10/7) ○協力員車いす研修(10/19) ○おひなまつり会 (3/1)	○男の料理教室(9/24, 12/3, 2/25)
久米川町	○フラワーアレンジメント教室 1/23, 3/31) ○サロン久米川1丁目 (毎週月曜日)	○元気アップ萌木 (毎週木曜日/1月から金曜日) ○元気アップinいこい (毎月第3・5水曜日)
秋津町	○ふれあい茶話会 2丁目(4/5, 12/6) ○ふれあい茶話会 3丁目(5/21, 11/19) ○ふれあい茶話会 1・5丁(6/3, 10/28) ○ふれあい茶話会 4丁目(6/8, 3/1)	

青葉町	○グラウンドゴルフ大会(11/13, 3/12) ○男の料理(5/10, 2/14)	○珈琲サロン(毎月第1・3日曜日)
恩多町	○恩多おしゃべり会(毎月第4金曜日)(4, 5, 7, 8月除く) ○グリーンサロン(毎月第3金曜日)(4, 5, 7, 8月除く)	○男の料理教室(6, 9, 12, 3月の第1火曜日)9月は中止 ○恩多見守り隊・キレイ化活動
萩山町	○協力員講座(5/19) ○協力員バス研修(10/3) ○2・3・4丁目お楽しみ会(10/13) ○5丁目お楽しみ会(10/27) ○1丁目お楽しみ会(10/28) ○はぎの花バス研修(3/30)	○ふれあい交流「はぎの花」※8月除く ・1丁目:ちびっこ広場(毎月第4金曜日) ・2・3・4丁目:萩山公民館(毎月第3水曜日) ・5丁目:東住宅(毎月第3月曜日)
栄町	○栄町バザー(10/30) ○協力員バス研修(11/10) ○協力員勉強会(2/14) ○公開講座(2/16) ○おひな祭りの会(2/26)	○栄サロン(毎月第4火曜日)
富士見町		○ふれあいサロン 花いかだ(1, 2月及び雨天時を除く)
美住町	○ふれあい交流会(1/26)	○みすみ第1サロン(毎月最終金曜日) ○みすみ第2サロン(毎月第2月曜日) ○筋力補強体操(12回)
廻田町	○料理教室(8/17, 1/18) ○おたのしみ会(10/8) ○グラウンドゴルフ大会(10/29) ○講座(1/14)	○めぐりたサロン(毎月第4水曜日)※8月除く ○めぐりたサロンバス研修(9/2) ○めぐりたサロンクリスマス会(12/21)
多摩湖町	○多摩湖ふれあいカフェ(6月~8月除く原則毎月第4月曜日)	○手芸サロンひまわり(毎月第1月曜日)
諏訪町	○昔話保存会による昔話し(1/13) ○春のコンサート(3/17)	
野口町	○映画懇親会(8/27)	○協力員バス研修(11/19)

④地域での連携・協力活動、広報紙発行、会議

町	地域での連携 協力活動	広報紙発行	会議 (全体会・部会等)
本町	○白十字ホーム施設応援ボランティア ○大岱小学校新1年生下校見守り	○広報「ゆかいなほんちょう」 (2,000部, 2回発行)	○全体会(8回) ○役員会(8回) ○ミコミ紙編集委員会(6回) ○実行委員長会議(1回) ○茶話会実行委員会 ○バス研修実行委員会 ○ひなまつり実行委員会
久米川町	○久米川東児童クラブとの交流 ○#護美プロジェクト(3/30) ○高齢女性の犬の散歩 (2, 3月計9回)	○「久米川町てくてくマップ」(5,000部, 1回発行) ○協力員ニュースレター(1回発行)	○役員会(12回) ○全体会(3回)
秋津町	○施設へのボランティア活動 ①はるびの郷(毎週月曜日)	○広報「あきつ」 (4,000部, 3回発行)	○全体会(7回) ○役員会(5回) ○ミコミ紙編集等

	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあいセンター桜まつり (4/3) ○ふれあいセンター夕涼み会 (8/28) 		<ul style="list-style-type: none"> ○ハーモニカ・ウクレレバンド「トレミアどん」(サロン・茶話会等で演奏) 随時
青葉町	<ul style="list-style-type: none"> ○白十字ホーム施設応援ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「青葉ちゃんネル」 (5,000部, 4回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会 6回 ○役員会 適宜
恩多町	<ul style="list-style-type: none"> ○三世代交流会(毎月第4日曜日) 8月はバザー参加 ○野火止小学校新1年生下校見守り (4月) ○大岱小学校新1年生下校見守り (4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「みんなの恩多町」 (3,000部, 46号、1,500部, 47号) 	<ul style="list-style-type: none"> ○役員会(11回) ○定例会(9回) ○ミニコミ紙編集委員会 (9回)
萩山町	<ul style="list-style-type: none"> ○親子のひろば「どんぐり」 スタッフボランティア(10回) ○萩山憩いの家・児童との交流 ○萩山小学校子どもを守る防犯連絡協議会 ○萩山小学校避難所運営連絡会 ○#護美プロジェクト(7/21) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「はぎやま」 (4,000部, 2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(11回) ○役員会(12回) ○ミニコミ編集会議(6回)
栄町	<ul style="list-style-type: none"> ○大岱小学校新1年生下校見守り(4月) ○#護美プロジェクト(1/6) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「さかえ町福祉協力員会だより」 (3,000部, 2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(12回) ○役員会 (13回) ○ミニコミ紙編集会議
富士見町	<ul style="list-style-type: none"> ○ふじみ玉すだれ一座 (ボランティア公演) 6回 ○富士見憩いの家・児童との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ふれあい富士見町」 (2,000部, 1回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(10回) ○役員会(11回) ○長寿実行委員会 ○広報紙編集委員会
美住町	<ul style="list-style-type: none"> ○団地祭 ○#護美プロジェクト(10/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「みすみ」 (4,000部, 1回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会 (11回) ○役員会 (14回) ○長寿実行委員会 ○広報紙編集委員会
廻田町	<ul style="list-style-type: none"> ○白十字ホーム施設応援ボランティア(6月菖蒲まつり、12月クリスマス・新年会) ○ボランティアセンター企画施設応援プロジェクト参加 ○回田小2年生まち探検ボランティア(11/17) ○#護美プロジェクト(11/25) ○回田小学校カルタづくりサポート(3/2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「めぐりたクション」 (700部, 2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会 (11回) ○ミニコミ紙編集委員会
多摩湖町	<ul style="list-style-type: none"> ○白十字ホーム施設応援ボランティア(12月クリスマス・新年会) 12/20, 12/23) ○回田小2年生まち探検ボランティア(11/16) ○#護美プロジェクト(12/15) ○移動販売周知活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ふれあいたまこ」 (2,500部, 2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会 (11回) ○役員会 (10回)

諏訪町	○白十字ホーム施設応援ボランティア(6月菖蒲まつり、12月クリスマス・新年会) ○#護美プロジェクト(3/30)	○広報「わが町諏訪町」(1,200部,2回発行)	○全体会(6回) ○運営委員会(6回) ○長寿実行委員会 ○広報紙編集委員会
野口町	○白十字ホーム施設応援ボランティア(6月菖蒲まつり、7月夏祭り、12月クリスマス・新年会) ○野口町2丁目都営JOINT参加 ①納涼会(8/21) ②敬老会(9/18) ③クリスマス会(12/18) ④ふまねっと(3/13) ○地蔵祭り出店(11/3) ○おつきさまストッカー梱包作業(12/5) ○北山小認知症サポーター養成講座(2/15) ○#護美プロジェクト(2/22)	○広報「たのしいまち野口町15号」(2,100部,1回発行)	○全体会(5回) ○役員会(3回) ○地蔵祭り打合せ(2回)

⑤各町の活動財源

町名	自主事業	財 政				協力員数	会員数
		社協助成	自主事業	その他	合計		
本 町	講座等参加費	122,840	21,442	255,575	399,857	29	243
久米川町	サロン、お楽しみ会等参加費	185,160	28,400	333,499	547,059	55	646
秋津町	バザー収入	168,620	168,804	12,606	350,030	52	435
青葉町		220,000	0	57,900	277,900	43	318
恩多町	バザー収入、サロン参加費	158,100	36,574	401,180	595,854	59	316
萩山町		170,620	0	311,859	482,479	40	390
栄 町	バザー収入、サロン参加費	147,300	55,200	301,865	504,365	48	235
富士見町	サロン参加費	139,420	4,635	375,844	519,899	37	421
美住町	サロン・筋力補強体操・ふれあい交流会参加費、団地祭収入	140,660	67,675	435,645	643,981	27	225
廻田町	サロン・講座等参加費	117,200	106,380	376,668	600,248	30	242
多摩湖町	サロン・イベント売上、カフェ参加費	135,149	158,450	21,106	314,705	39	318
諏訪町		136,800	0	200,335	337,135	42	502
野口町	地蔵祭り	106,520	241,300	635,801	983,621	27	368

(3) 地域ネットワーク活動の推進(発展強化計画関連事業)

項 目	実 績
地域懇談会の開催	○諏訪町地域懇談会(1回)、幹事会(6回)、役員会(1回) ○久米川町座談会(8/19,8/26,9/5)、○本町座談会(1/19)
地域ネットワーク活動の支援	現在、市内8町10ある地域ネットワーク活動の運営推進、課題解決等のため、会議や活動に参加した。 ○あいさつ運動代表者交流会 8/24、12/7、R5.2/17

【萩山町あいさつ運動】
 推進委員会（6回）
 町内の保育園、幼稚園、小学校にポスター作成依頼および掲示
 まち歩き

【諏訪町ゆっと】幹事会（8回）、運営委員会（5回）、サロン（10回）

【青葉安心ネット】運営委員会（11回）、全体会（5/15）、青葉小あいさつ
 運動（10回）、交流会（10回）、#護美プロジェクト（6回）

【アミーゴ青葉制作委員会】地域情報紙令和4年度前期・後期版発行

【秋津あんしんネット】運営委員会（11回）、サポーターの集い（7/10）、
 ふらっとカフェ（9回）、#護美プロジェクト（2回）

【本町だいじょうぶだぁネット】運営委員会（7回）報告&研修会（1回）
 護美プロジェクト（2回）

【野口町あいさつふれあい運動実行委員会】
 実行委員会（5回）、介護予防大作戦参加、のぐちゃんプレートの製作およ
 び配布、新チラシ作成および配布
 賛助団体（商店）拡大及びマップ作りに向けて検討

【富士見町あいさつ運動】推進委員会（2回）、実行委員会（3回）

【富士見町施設連絡会】連絡会（2回）、担当打合せ（5回）

【WE♥️恩多町プラン推進会】推進会（9回）

ひきこもり家族の支援

- ・家族会立上げに向けて
 6月30日(木)13:30～ 国分寺社協主催講座へ参加および情報交換
 7月9日(土)9:00～ 調布市家族会(やまぼうし)の視察および情報交換
- ・ひきこもりゼミの実施（13:30～16:00）

回数	日にち	内容	参加者数
第1回	12/10	あなただけじゃないよ	24名
第2回	12/24	ひきこもりの理解	32名
第3回	1/14	子の想い、親の望み	34名
第4回	1/28	不登校、ひきこもりは生きざまだよね	43名

- ・家族会
 令和5年2月25日から第4土曜日 13:30～ ひきこもり家族会「オアシ
 ス」スタート。
 その他、他地区社協と情報交換。講座実施に向けて打合せ複数回実施。

子ども食堂の支援

- ・ネットワークの立上げ及び支援(名称:東村山市子ども食堂等ネットワーク)
 5月より奇数月の第3金曜日 17:30～ 情報交換会実施
- ・都内子ども食堂・子どもの食支援ネットワーク等担当者連絡会への参画
 企画メイト打合せ7回
 学習会参加および企画運営 8月29日、12月5日
 連絡会参加および企画運営 9月5日、2月21日

若年性認知症およびヤングケアラーの支援

- ・芽吹きの家(日野市)希望者と共に視察 6月17日 明星大学にて
- ・認知症(若年性含む)およびヤングケアラー情報交換会
 8月24日、11月5日、12月2日に実施。

住民活動の拠点 (ふれあいスペースいっぷく)	南部エリアの拠点として栄町・萩山町福祉協力委員会の会議や事業での利用のほか、高齢者や障害者のサロン活動、ボランティアグループの話し合いの場など様々な地域活動で利用されている。												
	利用実績 (延べ)												
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	団体数	17	16	17	16	14	13	16	18	14	14	14	17
人数	108	106	107	98	73	80	117	108	101	84	104	110	
	<p>① いっぷく運営連絡会の開催 地域のふれあいと交流のよりよい場づくりを目指して、利用団体等と意見交換、大掃除を年3回行っている。また、意見交換から活動団体紹介チラシの作成および発行を実施。 第1回7月4日(月)9団体10名参加 第2回11月7日(月)8団体10名参加 第3回3月13日(月)8団体10名参加</p> <p>② ボランティア活動等の支援 ベルマークボランティア 日時; 毎月第1火曜日 13:30~15:00 内容; ベルマークの企業別整理、計算</p>												
(吉田さろん)	ボランティアグループや青葉町福祉協力委員会、見守りネットワーク活動等、青葉町の地域活動拠点として利用されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で、昼食会等は休止中。												
介護予防大作戦 in 東村山	※第1層生活支援コーディネーター事業にて報告。												

(4) 第1層生活支援コーディネーター事業

資源や地域ニーズの把握	<p>◇個別事例や地域課題の把握・検討地域 個別の事例や地域で暮らしている高齢者の生活課題や社会参加に関する課題等の把握、または検討を行った。</p> <p>① 自立支援型地域ケア議への参加 (7/14: 中部圏域、12/22: 中部圏域) ② UR あんしん情報交換会への参加 (5/23、7/11: 美住町) ③ 社協総合相談会議への参加 (4/7、5/12、6/2、7/7、8/4、12/1、1/2、2/2、3/2) (9回)</p> <p>◇まちづくり担当と各圏域地域包括支援センターとの連携会議への参加 市内5圏域の連携会議へ参加し福祉協力委員会や地域ネットワークの動きについて情報収集を行うとともに、地域課題や社会資源の把握に努めた。 開催日(東部: 第4火曜日 西部: 第3火曜日、南部: 第3金曜日、北部: 第3月曜日 中部: 第4金曜日)。</p>
-------------	---

<p>第1層協議体 (ささえ合い活動推進会議) の推進・発展</p>	<p>第1層協議体の目標である①『ご近所づきあいやサロン活動、地域活動などの小グループの中に取り入れられる、ささえ合いのしくみを考える』 ②『そのしくみをいろいろなところで話し合い、広げていく』をテーマとして、具体的な取組みについて検討を行った。</p> <p>1) 会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ささえ合い活動推進会議 (5/9、7/6、9/7、11/2、1/5、3/1) (計6回) ・ 作業部会 (10/5、12/8) (計2回) <p>2) ささえ合い懇談会の開催</p> <p>昨年度開催したシンポジウムに続き、上記の会議にて検討を重ね住民活動団体、地域包括支援センター、東村山社協、東村山市が協働してささえ合い懇談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：令和5年1月28日(土) 14:00～16:00 ・ 場所：市民センター会議室1・2 ・ 参加団体数：29団体 参加者数：42名 ・ 内容：①実例報告(2事例) ②懇談会 テーマ『一人一人のささえ合い』 				
<p>情報発信ツールの発行・活用</p>	<p>住民活動の情報や介護予防や社会参加の重要性、生活支援体制整備事業等について住民にわかりやすく伝えるためのツールとして『のめっこい通信(生活支援コーディネーター通信)』を発行した。(年2回:8月・2月)</p>				
<p>第2層生活支援コーディネーターの活動支援等</p>	<p>市・1層コーディネーター、2層コーディネーターが共通の認識をもち、一定の基準で地域づくりを進めていくため、会議や研修会の開催、情報の集約等の側面的なサポートをおこなった。</p> <p>◇生活支援コーディネーター会議の開催(毎月第3月曜日)</p> <table border="1" data-bbox="391 1048 1385 1621"> <tr> <td data-bbox="391 1048 582 1126">開催日</td> <td data-bbox="590 1048 1385 1126">4/18、5/16、6/20、7/25、8/15、9/28、10/17、11/28 12/19、1/16、3/20 (11回) *2月は研修会を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 1137 582 1621">検討内容等 (主なもの)</td> <td data-bbox="590 1137 1385 1621"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市全域、各圏域の目標の設定について ・ 体操体験会の実施について ・ 自立支援型地域ケア会議で出された課題の検討について ・ サロンの抱える課題・支援について ・ のめっこい通信の発行について ・ 各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・ 元気アップマップの発行について ・ マッチングイベント(南部・西部)の開催について ・ 目標の達成状況について上半期の振り返り ・ 生活支援 Co. 研修会・懇談会の実施について ・ ささえ合い懇談会への参加について ・ まち連携会議の活用について ・ 次年度事業について <p style="text-align: right;">等</p> </td> </tr> </table> <p>◇研修会の計画・実施</p> <p>①新任研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任生活支援 Co. 向けガイダンス 東部・西部(5/19)・北部(12/8) ・ ステップアップレクチャー 「Google フォーム、助け合いゲームの活用について」(6/13) <p>②生活支援 Co. スキルアップ研修会・懇談会等</p> <p>各圏域の地域包括支援センターの相談員が生活支援 Co. 業務への理解を深め、共に地域づくりに参画する基盤をつくるため、一緒に研修会に参加してもらうようはたらきかけた。(年2回)</p> <p>第1回：『ニーズ調査と地域アセスメントの活用』研修会(9/26) 第2回：生活支援コーディネーター研修・懇談会(2/20) 研修 テーマ：『若い世代の担い手の確保について』</p>	開催日	4/18、5/16、6/20、7/25、8/15、9/28、10/17、11/28 12/19、1/16、3/20 (11回) *2月は研修会を実施	検討内容等 (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市全域、各圏域の目標の設定について ・ 体操体験会の実施について ・ 自立支援型地域ケア会議で出された課題の検討について ・ サロンの抱える課題・支援について ・ のめっこい通信の発行について ・ 各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・ 元気アップマップの発行について ・ マッチングイベント(南部・西部)の開催について ・ 目標の達成状況について上半期の振り返り ・ 生活支援 Co. 研修会・懇談会の実施について ・ ささえ合い懇談会への参加について ・ まち連携会議の活用について ・ 次年度事業について <p style="text-align: right;">等</p>
開催日	4/18、5/16、6/20、7/25、8/15、9/28、10/17、11/28 12/19、1/16、3/20 (11回) *2月は研修会を実施				
検討内容等 (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市全域、各圏域の目標の設定について ・ 体操体験会の実施について ・ 自立支援型地域ケア会議で出された課題の検討について ・ サロンの抱える課題・支援について ・ のめっこい通信の発行について ・ 各圏域の協議の場づくりの進捗状況について ・ 元気アップマップの発行について ・ マッチングイベント(南部・西部)の開催について ・ 目標の達成状況について上半期の振り返り ・ 生活支援 Co. 研修会・懇談会の実施について ・ ささえ合い懇談会への参加について ・ まち連携会議の活用について ・ 次年度事業について <p style="text-align: right;">等</p>				

	<p>懇談 テーマ：『団体への運営支援について』他</p> <p>◇2層生活支援コーディネーターへのヒアリング</p> <p>昨年度の振り返りや2層 Co. の目標の共有等を行うとともに、業務の推進上の課題や意見、今後の取組に向けての意向などを聞き取り、事業計画等への参考とした。</p> <p>東部：5/26 西部：4/19 南部：4/15 北部：4/18 中部：4/21</p> <p>◇各圏域マッチングイベントの企画、実行委員会の運営サポート</p> <p>今年度から各圏域の2層 Co. が主として担当するマッチングイベントについて、事務局として共に企画や実行委員会等の運営サポートを行った。</p> <p>南部圏域：実行委員会：4/27、5/31（R2年度から継続して検討）</p> <p>開催日時：6/4（土）13：30～15：30 場所：萩山公民館</p> <p>来場者：82名</p> <p>西部圏域：実行委員会：8/4、9/12、10/25、11/22、12/21、1/17、2/28</p> <p>開催日時：3/4（土）13：30～15：30 場所：萩山公民館</p> <p>来場者：81名</p>
--	---

「2022介護予防大作戦 in 東村山」の推進

コロナ禍において、徐々に薄れてきてしまっている人と人とのつながりや団体同士のネットワークの再構築をはたらきかけていくとともに、イベント等の開催にとらわれることなく各町の実情に合わせて住民の日常的な介護予防や社会参加につながる取組みを検討・実施した。

①各町で実施する介護予防と健康づくりに関する取組み（各町地域推進委員会の取組み）

町名	会議等実施数	地域開催実施内容、活動状況等	地域開催等 開催日時 開催場所
本	6回	地域開催 久米川病院の健康セミナーチームによる講演（テーマ：食）の後に吹矢体験、ポッチャ、健康測定会、脳トレを実施した。	12月5日（月） 13：30～15：30 市民センター
久米川	7回	地域開催 地域包括支援センターとケアマネによる講話（テーマ：転ばぬ先の杖）の後、健康体操、レクダンス、輪投げ、ミュージックベルの演奏を実施した。	1月15日（日） 13：30～15：30 久米川町 ふれあいセンター
秋津	4回	地域開催 言語聴覚士による講話（テーマ：嚥下機能について）の後、ふまねっと、盆踊り、みんなで歌おうを実施。別室にて「何でも相談」、脳トレ、健康測定会、足爪相談会を実施した。	1月21日（土） 13：30～16：00 秋津公民館
青葉	4回	今年度は地域推進委員会の団体同士がお互いの活動をよく知るために、それぞれの団体の活動にお互いに参加をし、団体間のつながりを深める取組みを行った。	各団体の開催日程 （12月～3月） 各団体の開催場所
恩多	0回	2022年度は団体間の意見交換のためのアンケートを実施したのみにとどまった	—
萩山	5回	地域開催 「災害時のフレイル予防」をテーマに、災害時でもおいしく食べられる食事、エコノミー症候群の予防体操、新型コロナウイルスの最新情報、口腔ケア、サルコペニア予防体操等の講義や実演を行った。	11月19日（土） 10：00～12：00 萩山公民館

栄	4回	地域開催 地域包括支援センターによるフレイル予防の講座、輪投げ、ふまねっと、脳トレ、歌を実施した。	11月20日(日) 13:30~15:30 栄町 ふれあいセンター
富士見	7回	地域開催 富士見公民館と中央公園を会場にウォーキング、ボッチャ、足指力・握力測定、輪投げ、脳トレを実施した。	11月16日(水) 13:00~15:30 富士見公民館
美住	7回	地域開催 保健師と地域包括支援センターによる講話、ボッチャ、骨密度測定会、介護相談会を実施した。	11月13日(日) 13:30~15:30 グリーンタウン美住 第一集会所
廻田	4回	地域開催 健康増進課による講話(テーマ:骨粗しょう症予防について)、ロコモ予防体操、正しいウォーキング、ふまねっと、ボッチャ、輪投げ、握力測定等を実施した。	12月3日(土) 10:00~12:45 廻田公民館
多摩湖	6回	前年度3月にアンケートを実施後、自治会や活動団体との話し合いの場を設ける予定。2月4日にアンケートの結果をもって住民との意見交換会を実施した。	2月4日(土) 10:30~12:00 多摩湖町 ふれあいセンター
諏訪	3回	地域開催 呼吸法をテーマにした体操と地域包括支援センターによる講和(テーマ:介護保険・介護予防について)、防災防犯課による諏訪町の防災講和、諏訪町での見守り等の地域での取り組みの報告を行った。別室にて福祉用具の展示コーナーを設置した。	11月27日(日) 10:00~14:30 社会福祉センター
野口	5回	地域開催 認知症予防の運動としてコグニサイズの講話と実演、測定コーナー、脳トレ、輪投げを実施した。	10月30日(日) 13:30~16:30 地域福祉センター

②中央実行委員会等の取組み

実 績	
1) 全体方針や事業推進のための会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員会 6/23、9/15、12/2、2/13、3/27 (5回) ② 実行委員会 7/13、10/3、12/12、2/22 (4回)
2) 各町の活動を総括する中央大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・日時: 令和4年3月18日(土) 13:30~15:30 ・場所: 中央公民館 ホール ・参加者数: 一般参加者 111名 スタッフ・来賓等 54名 <u>合計 165名</u> ・内容: 1. 講演(東村山市健康増進課) 2. 体操(東村山市健康増進課) 3. 地域開催報告(13町) 4. レクタイム(和太鼓「仁の会」)
3) 事業の広報・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・「かいごよぼう十二号」の発行(9/1) 2500部

(5) 地域福祉活動団体の運営支援

項 目	実 績
助成金の交付	<p>令和4年度の助成金を下記の通り交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域福祉活動助成(4団体) 175,000円 ◇当事者団体助成(8団体) 269,800円 ◇ふれあい・いきいきサロン運営費助成(45団体) 864,657円 ◇福祉団体助成(2団体) 761,000円

ふれあい・いきいきサロン数	◇ふれあい・いきいきサロン 55 団体 67 か所（高齢者、障害者、子育て、世代間交流サロン等）
サロン・スタッフ交流会 等	○情報収集、情報提供を行い、サロン活動の動画・写真撮影の実施、ホームページ等での発信を行った。 ○サロン交流会を開催した。 8/5 福祉協力員会サロン交流会（10 町 39 名参加） 2/21 サロン交流会 in 北部エリア（8 団体 12 名参加） 3/28 サロン交流会 in 南部エリア（10 団体 15 名参加） 3/29 サロン交流会 in 中部エリア（12 団体 17 名参加）

（6）障害者週間・福祉のつどい

項目	実 績																		
運営委員会	福祉のつどい開催のため、運営委員会を組織した。（8 団体と 1 名参加） 4 月から 3 月まで 11 回開催。																		
実行委員会	実行委員会は 19 団体と 2 名の参加で組織し、ハイブリット形式で開催した。 <table border="1" data-bbox="470 808 1307 1191"> <thead> <tr> <th></th> <th>日にち</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>7/19</td> <td>自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>9/20</td> <td>今年度の企画内容について、グループワーク</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>10/18</td> <td>実施内容の検討、進捗状況の確認</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>11/15</td> <td>実施内容最終確認</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>12/20</td> <td>今年度の実施報告、振り返り</td> </tr> </tbody> </table>		日にち	内 容	第 1 回	7/19	自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について	第 2 回	9/20	今年度の企画内容について、グループワーク	第 3 回	10/18	実施内容の検討、進捗状況の確認	第 4 回	11/15	実施内容最終確認	第 5 回	12/20	今年度の実施報告、振り返り
	日にち	内 容																	
第 1 回	7/19	自己紹介、運営体制について、今年度の進め方について																	
第 2 回	9/20	今年度の企画内容について、グループワーク																	
第 3 回	10/18	実施内容の検討、進捗状況の確認																	
第 4 回	11/15	実施内容最終確認																	
第 5 回	12/20	今年度の実施報告、振り返り																	
実施内容	◇作品・施設紹介パネルの展示 東村山市中央公民館 1 階展示室；11/17(木)～19(土) ・来場者（アンケート回収数）；145 人 【17 日 AM19 人/PM5 人、18 日 AM25 人/PM29 人、19 日 AM36 人/PM31 人】 ・つどいキャラクター選考の投票実施 ◇つどいセットの販売 イトーヨーカドー東村山店 1 階特設会場；11/23(水・祝)～24(木) ・10 時～19 時、販売セット数；88 セット/100 セット（期間合計） ◇自主制作品・つどいセットの販売 東村山市役所 グリーンバスバス停前；12/7(水)～9(金) ・10 時～15 時、のべ 23 団体参加 ◇冊子の作成：1,000 部、19 施設・団体掲載／動画（You Yube）の作成：6 施設・団体／ツイッターによる広報																		

2 標準服リユース事業

(1) 標準服リユース事業

①福祉だより (No. 226) や SNS 等を活用し、標準服の募集を行った。また、一円貨募金チラシにて事業紹介。寄付件数 ; 103 点 / 28 世帯

②受け付けた標準服の保管、管理を行った。

③標準服を必要としている家庭へお渡しした。

福祉だより (No. 225) 記事、PTA や学校の紹介、知人の紹介などから利用につながった。

年間 70 件の問い合わせがあったが、本人に合う標準服がなくお渡しできないケースもあった。

譲渡件数 ; 68 点 / 30 世帯

3 ボランティアセンター

(1) ボランティア・市民活動相談 (発展・強化計画関連事業)

項目	実績
相談及び調整	<p>①様々な相談を受け、解決に向けて社協組織内の各係や他機関と連携した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ケース ; 9 件 (外出付き添い、障がい児の送迎、犬の散歩、話し相手など) ・継続支援ケース ; 9 件 (通院付添や代読、話し相手、送迎など) ・職員が対応した相談 ; 2 件 (粗大ごみの処分、受験費用について) (以下、ボランティアセンターを通して調整した件数のみ記載) ・要請者数 ; 8 名、要請件数 ; 151 件、活動者数 (のべ) ; 114 名 ※依頼者の体調不良、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止あり ・その他の相談 ; 14 件 (活動場所の情報提供、活動団体の紹介など) <p>②ボランティア活動・ボランティア要請に関する相談及び調整を行った。 要請件数 ; 14 件、活動者数 (のべ) ; 23 名、活動団体数 (のべ) ; 6 団体</p> <p>③ボランティアグループ、NPO・市民活動団体の運営や活動に関する相談に応じた。</p>
ボランティア登録	個人登録 112 名、グループ登録 77 団体、2,870 名
ボランティア保険	保険加入者 2,928 名 (内、天災プラン加入者 106 名)、ボランティア事故報告 6 件 (コロナウイルス罹患、活動中の転倒など)

(2) 連携・ネットワーク

項目	実績
ボランティアグループとの連携	<p>①ボランティアグループ懇談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換やネットワーク構築の場として月 1 回 (第 4 土曜日午前)、ボランティアグループ懇談会を開催した。(感染対策のためハイブリッド開催) ・ボランティアグループ懇談会の活動の支援 情報誌「ボランティアグループ一覧」の作成 (6 月・120 部) ・VS ネットの実施 (5 月、10 月) ・オンラインボランティアまつりを開催 (10 月 23 日)

	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座「災害発生！知りたい避難のこと（講師；蓑田圭二氏）」開催（11月26日） ・公開講座「生前整理と整理収納ーモノを整理して過去から自分を解放し今を生きるー（講師；NPO 空の間プロジェクト）」（1月28日） ・ボランティア交流会を開催（2月25日） <p>②グッドフェローズの支援 定例会（第4金曜日午後）や、子ども達が安心して過ごせる居場所「ぐっどすぺーす」（第1土曜日午後、場所：ふれあい工房）に参加し、活動を支援した。上半期に団体紹介用パネルを作成した。活動PRのため、団地祭（11月27日）に参加した。</p> <p>③ベルマークボランティアの支援 定例会（第1火曜日午後）に参加し、活動を支援した。※1月はお休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが整理・集計したベルマークを、事前アンケート調査で希望のあった化成小学校・久米川小学校・萩山小学校の3校にお届けした。 ・ボランティアが3名から8名に増加した。
他社協との連携	<p>① 都及び区市町村ボランティアセンターとの連携及び北多摩北部ブロック（武蔵野市、小平市、清瀬市、西東京市、東久留米市、東村山市）の連絡会へ ZOOM で参加し、コロナ禍における事業運営等について情報交換等を行った。（7月15日、10月4日、1月17日、3月29日）また、アクションプラン推進会議のメンバーで構成されるプロジェクトメンバーにより、防災まち歩きオンラインを開催した。（PT 会議：4月6日、7月28日 防災まち歩き：5月15日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村ボランティア・市民活動推進担当者会議（4月13日、7月27日、10月20日、1月19日） ・区市町村ボランティア・市民活動センター長会議（6月17日、9月27日、12月7日、2月16日）
会議等への参加	<p>① ささえ合い活動推進会議 高齢者の支え合いが生まれる仕組みづくりについて検討する会議に参加。（5月9日、7月6日、9月1日、11月2日、1月5日、3月1日） ささえ合い懇談会の企画準備のための作業部会（10月5日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ささえ合い懇談会（1月28日）に参加。 <p>② 子育て総合支援センター運営協議会（ころころの森） ころころの森の事業や運営について把握し、協議する会議に参加。（7月12日、2月28日）</p>

(3) 情報の収集・提供

項 目	実 績
情報の収集と提供	<p>①毎月1回ボランティアネットを発行した。</p> <p>②ボランティア活動情報を収集し、提供した。</p> <p>③福祉だより（社協広報紙）に、ボランティアセンター関連情報を掲載した。</p> <p>④ボランティアセンターのホームページが社協ホームページと合併したため、ボランティアセンターの情報をより細やかに伝えるため仮設ホームページを設置、運営した。SNS との連携、QR コードの活用により、仮設ホームページへのアクセシビリティの向上を図った。</p> <p>⑤ボランティアセンターツイッターアカウントにより情報発信を行った。</p> <p>⑥フェイスブックについては、子ども協力員をレポーターにした取り組みや動画を取り入れるなどの工夫を行った。</p>

	<p>⑦社協掲示板を活用して、ボランティア活動等の情報発信を行った</p> <p>⑧登録ボランティアに対して、ボランティア活動情報や講座・イベント等の情報提供を個別に行った。</p> <p>⑨視覚障がい者への支援（ボランティアネットの点訳版、音訳版の作成）</p>
--	--

(4) ボランティア活動推進委員会の開催

項 目	実 績
委員会の開催	<p>①ボランティア活動推進委員会を開催した。（6月20日、11月16日、3月22日）</p> <p>②ボランティア活動推進委員会のほかに、次の小委員会を開催した。</p> <p>1) ボランティア需給調整委員会 毎月第2・4木曜日 計14回開催</p> <p>2) ボランティアネット編集委員会 毎月第1金曜日 計12回開催</p>

(5) 災害ボランティアセンターの運営及び災害支援活動

項 目	実 績
災害ボランティアセンター設置・運営訓練など	<p>①社協災害プロジェクト会議を定期的で開催し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、普通救命講習会、社協BCP（事業継続計画）改訂版、及び災害時社協職員初動マニュアル作成の検討を行った。（5月11日、8月17日、9月29日、1月18日、3月15日）※各チーム会議は別途開催</p> <p>②東村山災害スタボラ会の定例会（毎月第4金曜日の午後）に参加し、情報共有や活動支援を行った。（防災力アップ講座修了生1名がメンバーに加入）</p> <p>③東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議メンバー、及び北多摩北部ブロック内社協ボランティアセンターとともに、「東村山防災まち歩き」を開催した。（5月15日）※再掲</p> <p>・参加者（団体）16団体・42名</p> <p>④令和5年度版の社協BCP(事業継続計画)改訂版、及び災害時社協職員初動マニュアル改訂版を作成した。（令和5年4月に全職員対象の説明会を予定）</p> <p>⑤災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施（3月27日）。社協職員、災害スタボラ会、市関係機関の参加のもと、感染症拡大防止下における災害ボランティアセンター立ち上げを想定した訓練を行った。（Google フォームを活用した事前申し込み、オリエンテーション動画の事前視聴、集合時間ごとに定員を設けた受付、マッチング等）</p> <p>・参加者 49名（内訳；社協職員34名・スタボラ会12名 市3名）</p>
災害支援活動	<p>大規模災害の発生により共同募金会で義援金の募集が行われた場合に、募金活動への協力を呼びかけた。</p> <p>・令和4年8月3日からの大雨災害義援金（中央共同募金会へ※12月末で終了）</p>

4 福祉教育活動の推進

(1) 青少年へのボランティア・福祉教育の推進（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
福祉学習の相談 ・調整・支援	<p>学校やボランティアグループ等と連携を図り、福祉教育の推進を行う。 ※新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、新たな取り組み内容をボランティアと共に検討した。</p> <p>◇支援校数：16校（学年別に集計、対象は小学校、中学校） ◇実施回数：56回（学校との打ち合わせ回数を含む）※相談回数は除く ◇主な依頼内容（実施は10月～2月）：福祉学習（車いす体験・アイマスク体験・高齢者擬似体験、手話体験、防災学習、当事者による講話など）、 取り組み内容の相談・アドバイス、講師派遣・調整、機器等貸出など。 ◇ボランティアグループ等の協力：福祉さんき会、視覚障害者友の会、聴覚障害者協会、手話サークル、手話サークルしおり、手話通訳者、車いす利用者。</p> <p>◇ゲストティーチャー交流会 福祉学習の振り返りや、意見交換、情報交換を行った。 開催日；3月23日（木） 参加者；14名（ゲストティーチャー9名、教員2名 他）</p>
夏体験ボランティア事業	<p>企画に先駆け、福祉施設や団体を対象に、受け入れに関するアンケートを行った。そのうち、「協力可」と回答のあった福祉施設や団体と受け入れについて調整し、実施した。</p> <p>◇活動期間：8月1日～8月31日 ◇申込み：43名（小学生5名、中学生20名、高校生15名、大学生3名） ◇活動人数：のべ52名 ◇オリエンテーション：感染対策として、オリエンテーション動画を作成し、参加者には事前に視聴してもらった上で後日個別対応を行った。 （7月12日～20日） ◇活動メニュー：21（保育園、ベルマークの整理、募金箱作成、サロン活動への参加、オンラインおためし講座、特技発表（ピアノ演奏、コマ回し、交流など） ◇振り返り 活動に職員が同行し、振り返りを行った。感想文の提出。小・中学生には子ども協力員（ボラチル）の案内をしたところ、2名（小学生、中学生）が登録し、夏休み以降も活動。</p> <p>※受付にはGoogleフォーム等を利用するなど、新たな方法を取り入れたところ、初めての参加や私立中学校、高校の参加者が多かった。 ※参加者へ感染症対策の注意喚起を行い、参加者に活動日前後2週間の健康観察を徹底した。 ※コロナウイルスの影響により、3か所が活動中止となった。また、コロナウイルスに罹患した参加者もあり、夏休み以降に調整した。</p>
福祉のお仕事座談会「おためしふくし塾」	<p>福祉の仕事の魅力を発信することを目的に、①福祉施設での実際の「職場体験」と、②福祉の仕事のやりがいをテーマにした「座談会」をセットで開催した。</p> <p>◇①職場体験：8月22日（月）～26日（金）の中で1箇所以上を選択 ②座談会：8月30日（火）10：00～11：30 ◇参加者：3名（大学生1名、高校生1名、実習生1名） ◇協力団体：青葉の杜、東村山子育て支援ネットワークすずめ、さつき荘、社会福祉協議会（包括支援センター）</p>

(2) 担い手の育成(発展・強化計画関連事業)

項 目	実 績
ゆるボラ&おためしボランティア体験講座	新年度にボランティア活動を始めるきっかけとして、3月18日に開催。 「ゆるボラ講座～ボランティアを楽しく始めるヒント～」 内容：ボランティアの話、福祉施設職員の話、福祉協力員の話 13名参加。※ゲストティーチャー：関野美菜子氏（ボランティア）、石丸康子氏・高尾雅氏（施設職員）、板垣辰男氏（福祉協力員）
オンラインおためし講座	LINE と Zoom の使い方を学ぶ講座を月一回程度開催した。（参加者のべ57名）
防災力アップ講座	地域防災力の向上を目的とした、「あなたの力が東村山を救う 防災力アップ講座」を全4回の連続講座で開催した。 第3回目のHUG（避難所運営ゲーム）は、昨年度の防災力アップ受講者にも呼びかけ、サポートに加わっていただいた。講義開催後も情報提供を希望する受講者が多く、災害関連講座やイベント情報を受講者にお届けしている。 受講後、修了生2名が東村山災害スタボラ会や福祉協力員会に加入した。 開催期間；5月21日（土）～6月11日（土） 参加申込者；21名 全回受講者；18名 講師：養田圭二氏、守家規氏、東村山災害スタボラ会、東村山市防災防犯課職員、地域防災団体、他

(3) コロナ禍における取り組み

項 目	実 績
情報の収集と提供	◇長引くコロナ禍で、ボランティアの受け入れ状況や受け入れ再開に向けて施設・団体が抱えている課題や必要な手立て、今後の要望を把握するためアンケート調査を実施した。 ・配布団体数 45団体 ・回答団体31団体
ボランティアセンター発！施設応援企画	上記、ボランティアの受け入れに関するアンケートの集計結果から伺えた福祉施設の利用者・入所者の方々の現状や課題を受け、ボランティアセンター発！施設応援企画として3つのプロジェクトを実施した。 ①暑中見舞い・残暑見舞いプロジェクト 個人ボランティアやボランティアグループ、学校等から寄せられたハガキを冊子にまとめ、施設・団体にお届けした。 残暑見舞いプロジェクトは、企画に参加した東村山西高校のボランティア部の学生とともに福祉施設にお届けした。 ・暑中見舞いプロジェクト（募集期間；6/22～7/25）応募数 181枚 ・残暑見舞いプロジェクト（ ” ” ；7/26～8/13）応募数 138枚 ②消毒用雑巾づくりプロジェクト（募集期間；6/22～8/31） 個人ボランティアやボランティアグループ、高齢者サロンの利用者、福祉協力員会等から寄せられた雑巾を必要とする施設に順次お届け中。一部の施設には、企画に参加した福祉協力員の方々とともに訪問してお届けした。 ・消毒用雑巾 676枚 ③輝く“夏”の写真プロジェクト（募集期間；6/22～8/13） ・写真 10枚

5 高齢者生きがい事業

(1) 高齢者の生きがい対策事業

項目	実績									
いきいきサロン 菘山の運営	利用登録者数；42名（令和4年3月末現在）									
	① 利用延人数									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計		
	男性	24	22	21	21	18	19	125		
	女性	151	140	180	146	138	139	894		
	合計	175	162	201	167	156	158	1019		
	新規	1	0	1	0	0	0	2		
	退会	1	0	0	1	2	0	4		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	年度 合計	
	男性	24	21	16	14	15	12	102	227	
	女性	129	149	132	145	158	198	911	1805	
	合計	153	170	148	159	173	210	1013	2032	
	新規	0	1	4	1	1	2	9	11	
退会	0	0	0	0	0	1	1	5		
	② スタッフ月例ミーティング（月1回） 利用者の状況や対応の申し送り、活動内容の検討									
	③ バス研修 10月21日 昭和記念公園他 15名参加									
憩いの家利用者 サービス事業	① 児童クラブとの交流事業・季節のつどい 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の集う形での交流は中止。 季節にちなんだメッセージ等の交換で交流を行った。									
	② 集いと交流の日 火曜日(久米川・廻田)、木曜日(菘山・富士見)の旧・循環バス運行日を「集いと交流の日」とし、カラオケや軽体操など気軽に参加できるプログラムを実施した。									
高齢者生きがい 講座	はじめてのピアノとギター ピアノ、ギターを基本から学べる初心者対象講座。初めて触れる方にも分かりやすく、練習を楽しめ、最終回ではオンラインコンサートを行った。 日時：1月16日～3月20日 9:30～12:00、会場：社協・地域福祉活動室 講師：澤崎理恵子氏(ピアノ)、渡辺俊一氏(ギター) 受講者：ピアノ14名、ギター10名									

(2) 敬老福祉啓発事業

長寿を共に祝う会	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、高齢者や福祉協力員の健康・安全面を考慮し、従来の各町福祉協力員会による実施形式（会の開催又は記念品手配り）を中止。昨年度に引き続き、お祝いの気持ちを表す形として、お祝い文、記念品を対象者全員へ郵送した。</p> <p>①関係者会議の開催 (第1回) 日時；5/27(金)10：00～12：00 (第2回) 日時；11/11(金)10：00～12：00</p> <p>②実施内容 市内に住所を有する、7月31日時点で満80歳以上となる在宅高齢者を対象として、敬老の日(9/19)時点で市内に住民票を有する方13,780名に9月上旬から、(1)記念品(ミニタオル) (2)主催者(市・社協)お祝い文(3)各町福祉協力員会お祝い文 (4)新型コロナウイルス注意喚起チラシ (5)各町福祉協力員会等からのお知らせを郵送。 各町からのお祝い文に関しては、A4用紙とメッセージカードを選択制とし、可能な範囲でデコレーション等を施していただいた。 349枚のミニタオル(記念品)が発注ロットや対象者不在の関係で余ったが、東村山市内社会福祉法人連絡会を通じて希望する福祉施設へ配布した。</p> <p>③「高齢者への手紙」(米寿のお祝い) 小学生から米寿の方へのお手紙を添えて祝い品をの封詰め作業を行った。 ・4月；教育部教育総務係を通じて、校長会に依頼文を提出。 ・5月；各校へ用紙を配布。 ・7月中；手紙の回収と検読作業。 ・9月；封入・封緘作業。</p>
----------	---

6 健康長寿のまちづくり推進室事業

多目的講座室利用状況(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市老連	14	6	12	10	7	14	8	11	7	8	8	9	114
高齢者団体	4	14	14	10	10	12	8	7	7	8	8	11	113
福祉団体 他	0	0	1	0	0	0	3	2	1	1	1	1	10
市	6	7	7	15	3	2	7	2	1	3	1	4	58
計	24	27	34	35	20	28	26	22	16	20	18	25	295

7 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業

項目	実績
補助金申請援助	市老連事務局は、書類提出時点で軽微な誤りや書類不足等の点検を行い、社協と市健康増進課にて内容検査を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため単位クラブとの積極的な面談は行わず、電話によるヒアリング等を実施した。書類等の修正を行ったうえで、補助金申請及び実績報告書を社協より市健康増進課へ提出した。

	<p><令和4年度東村山市老人クラブ補助金申請書及び令和3年度実績報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の受付及びチェック；4月4日（月）～8日（金） ・補助金申請面談；所管にて面談に係る調整実施 ・補助金支出；6月
老人クラブの育成・相談	<p>補助金対象会員数は1,686名で、前年度（1,880名）比較194名減であった。市外や重複入会も含む老人クラブ加入総数は1,706名、昨年（1,906名）比較で200名減。解散1クラブ。</p> <p>◇令和4年4月28日現在、老人クラブ数；32クラブ 会員数；1,686名</p>

町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口
クラブ数		5	1	2	2	3	5	5	2	2	1	2	2
会員数		290	72	124	74	142	238	189	78	103	104	169	123

【相談概要】

- 1 活動拠点について
- 2 市老連活動の相談
- 3 活動に必要な備品の調達、コミュニケーション等の相談
- 4 単位クラブ主催行事への協力依頼や相談
- 5 単位クラブの会計、解散・継続・分離の相談
- 6 市老連事業への苦情受付
- 7 体調不良役員・会長の対応

連合会事務局の運営及び活動支援

◇事務所及び談話室来訪者数を計測した。(件)

	①老人クラブ 会員(人)	②会員外高 齢者(人)	③職員他 (人)	④談話室利用 (人)	⑤電話外 線(本)	⑥電話内 線(本)	対応 合計
年間計	1,961	725	897	560	1,820	887	6,850
月平均	163	60	75	47	152	74	571
日平均	8	3	4	2	8	4	29

※①②③は、いきいきプラザ4階市老連事務室来訪者数。

④は、いきいきプラザ4階健康長寿のまちづくり推進室談話室利用者数。

⑤⑥は、市老連事務所電話対応数。(推進室電話対応数は未調査)

◇令和4年度市老連活動実績

活動項目	主な活動	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	1月～ 3月
1、社会奉仕活動	総務部会活動		6人		
	産業まつり			中止	
2、健康づくり活動	厚生部会活動	3回 30人		1回 11人	1回 8人
	健康体操教室	6回 122人	6回 117人	5回 102人	6回 137人
	レクダンス講習	3回 63人	10回 157人	3回 67人	3回 111人
	都老連ペタンク大会			6人	
	第3回平均年齢80歳の運動会			240人	
	グランドゴルフ大会	146人		2回	

					178人	
		ふれあい運動会			6人	
		輪投げ大会	150人			180人
3、生きがいを高める活動		文化部会活動	5回 33人	6回 43人	4回 59人	4回 30人
		芸能文化祭		24人	6回 2,101人	
		女性部会活動	8回 88人	8回 115人	4回 40人	8回 113人
		広報部会活動	6回 43人	7回 43人	7回 38人	5回 26人
		手芸教室		27人	2回 30人	18人
		チャリティーカラオケ			中止	
		子ども文化実行委員会	3人	4人	2回 6人	2回 5人
		GoGo子どもアート	2回 21人			
	4、その他の社会活動		都老人クラブ連合会行事等	5回 21人	2回 5人	4回 28人
		市老連会長会、地区協議会活動等	6回 169人	4回 115人	6回 137人	5回 121人
		役員会	3回 36人	5回 55人	6回 47人	5回 55人
		会則・内規等の検討委員会	2回 14人	5人	2回 8人	
		国、都、市関連行事・会議等			1人	
		社協地域福祉大会等	1人			1回
5、その他		会員親睦旅行等	21人	53人		102人

Ⅱ 相談事業

1 総合相談事業（発展・強化計画関連事業）

係を横断した「総合相談チーム」を編成し、市民からのあらゆる相談に対して必要に応じて福祉サービス等の情報を提供するとともに、相談内容により社協他事業や関係機関等に繋げ支援を行った。特定の事業や機関につながることがない相談に関しては、総合相談チームとして継続的な支援を行った。また、チームが主催する職場内研修を計2回開催した。

(1) 相談実績

①月別の電話相談、来所、連絡調整等の延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月		
22	15	21	22	21	22		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	※前年度実績
23	24	17	6	16	21	230	(120)

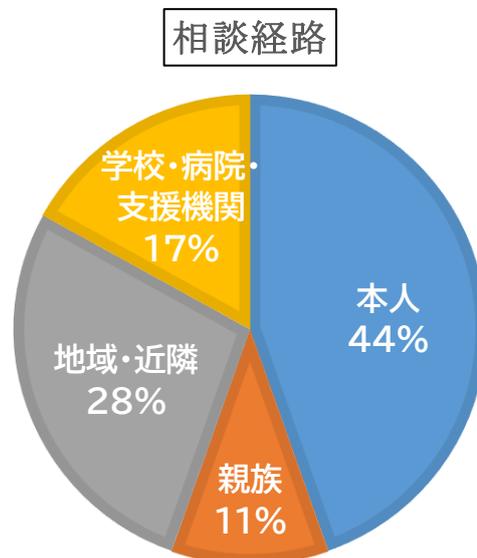
②新規、継続相談件数

① 新規相談者	65	(38)
新規相談の対応結果	継続相談	18 (6)
	初回相談のみ	47 (32)
② 前年度からの継続相談者	6	(2)

※「初回相談のみ」は、「相談を受ける→情報提供した」という1往復のやりとりで終了したものの。情報提供等したのち、さらに相談等が続いたものを継続相談としている。

- 相談経路としては本人からの相談が最も多く、半数近い数となった。本人からの相談の多くは単身者であり、頼れる存在が身近にいないことが相談のきっかけになっていると思われる。
- 地域住民の方や学校、病院、支援機関等からの相談が45%を占め、社協及び地域担当職員が、地域の困りごとを相談できる存在として認知されてきている。

経路	件数
本人	29件
親族	7件
地域・近隣	18件
学校・病院・支援機関	11件
計	65件



③対応方法（延べ件数）

来所相談	電話相談	家庭訪問	電話訪問	ケース連絡	ケース引継ぎ	その他	合計
90	46	52	3	31	0	8	230

④相談内容（延べ件数）

1. 病気や健康、障がいについて	34	10. 家族との関係について	11
2. 住まいについて	15	11. 子育てについて	3
3. 収入・生活費について	17	12. 介護について	8
4. 家賃やローンの支払いについて	0	13. ひきこもり・不登校について	4
5. 税金や公共料金の支払い	6	14. DV・虐待について	3
6. 債務について	2	15. 食べるものがない	55
7. 仕事探し、就職について	3	16. ペット	5
8. 仕事上の不安やトラブル	1	17. 死後事務	0
9. 地域との関係について	19	18. その他	112
		合計	298

（２）相談対応の検証を行い、地域課題を探る

①チームミーティングの開催

毎月第1木曜日10：30～定例開催とし、計12回開催した。

- ・運営体制の検討、他係との連携等について協議した。
- ・ミーティング以外にも、ケースカンファレンスや社内メールにてケース検討や情報共有を図った。

（３）内部研修の企画・実施

①「なぜ、いま社協が総合相談に取り組むのか」

日時：6月30日（木）午後4時～5時15分、於：地域福祉活動室

内容：東村山社協における「総合相談」の考え方、総合相談チームの取り組み

参加者：23名

②「事例から学ぶ東村山 ～検討・情報交換会～」

日時：8月30日（火）午後3時～5時、於：地域福祉活動室、会議室1・2

内容：架空の事例をもとに、各機関で想定される対応を協議、発表

参加者：26名

（４）相談様式の改定の検討

11月より相談様式を改訂し、ペットに関すること、自身の死後事務や身元引受人についての件数を計上できるようにした。

（５）まちづくり支援係をはじめとした、各係との連携強化

相談受付票の共有、係からの相談への助言等を行った。

2 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者もしくは高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を実施した。東社協受託事業。

(1) 貸付相談

(2) 償還相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉費	5	6	15	31	43	7	7	4	10	8	7	5	148
教育支援資金	52	18	42	40	97	98	83	64	31	48	52	76	701
緊急小口資金	0	1	5	3	2	6	15	7	2	18	20	27	106
総合支援資金・ 離職者支援資金	2	2	3	1	2	7	5	3	8	6	5	4	48
不動産担保型生活資金・ 要保護世帯向け不動産 担保型貸付資金	2	1	3	9	6	0	3	0	0	2	0	2	28

① 貸付・償還等相談件数（項目重複あり、来所・電話相談等、延べ件数）

貸付実績報告（辞退含まず） ※貸付決定 52 件（新型コロナ特例貸付を除く）

資金種類			貸付決定 件数	貸付決定金額	
生活福祉資金	福祉資金 ※	障害者用自動車の購入に必要な経費	0 件	0 円	
		住居の移転等に必要な経費	0 件	0 円	
		生活保護受給者の国民年金の任意加入により納める保険料の経費	0 件	0 円	
		生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	5 件	377,000 円	
		技能習得に必要な経費	0 件	0 円	
	緊急小口資金		3 件	300,000 円	
	教育支援資金	教育支援費	26 件	32,192,500 円	
		就学支度費	18 件	3,005,000 円	
	総合支援資金	生活支援費	生活再建までの生活費用 (12ヶ月以内)	0 件	0 円
		住宅入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶ 為に必要な費用	0 件	0 円
		一時生活再建費	生活再建の為に一時的に必要な費用	0 件	0 円
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金		0 件	0 円
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金		住居のない離職者が公的給付・ 貸付を受けるまでの生活費	0 件	0 円	

※福祉資金・福祉費は貸付実績のある資金種類のみを掲載。

②償還相談及び救済制度等の申請手続き事務を行う。

貸付対象の世帯は様々な生活上の課題を抱えており、借受世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の適用検討・手続きを行った。また、償還が見込めず適格要件を満たす世帯について償還免除の検討を行った。

償還猶予	延滞利子免除	償還免除
4件	0件	5件

③東京都社会福祉協議会発行の書類等の発送事務及び催促を実施する。

償還促進のため、東京都社会福祉協議会からの発行帳票を送付する際などに電話・訪問を適宜行い、償還状況を確認しながら救済制度の適用を図った。

④市関係機関等と必要に応じて協議を行う。

○民生委員・児童委員協議会

合同及び地区定例会へ適宜参加して事業周知を進めるとともに、貸付世帯の情報共有を個別に行った。また、民生委員による生活福祉資金借受世帯への支援状況を確認するため、支援記録票の点検を行った。

日時	場所	点検者
令和4年5月20日(金) 10:00~12:00	社協・地域福祉活動室	地区会長5名

○自立相談課・ほっとシティ東村山

相談の調整をスムーズに図ることができるよう、市役所自立相談課、ほっとシティ東村山（自立相談支援機関）と適宜ケース連絡・情報交換を行った。

○その他

新たな住宅セーフティネット法の施行により、住宅確保用配慮者に対する賃貸住宅の供給が円滑に進められるよう自治体に努力義務が課されていることから、連携支援に向けて関係各所と各制度の内容確認や情報共有を行った。

日程	相手先
令和4年8月17日(水)	地域福祉推進課、都市計画課、自立相談課、こども保健・給付課

⑤会議、研修

項目	出席者数	実施日	場所
令和4年度 生活福祉資金新任職員研修	1名	4月19日(火)、 5月10日(火)、 17日(火)、 24日(火) 6月7日(火)、 14日(火)	オンライン

生活福祉資金貸付事業説明会 「令和4年度実施計画と運用変更点等」	2名	6月24日(金)	オンライン
新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口等特例貸付 償還に関する説明会	3名	9月15日(木)	オンライン
東京都多重債務問題対策協議会情報連絡部会研修 「多重債務問題に関する研修(経験者向け)」	1名	9月30日(金)	オンライン
令和4年度生活福祉資金 特例貸付の償還免除等に 伴う本則貸付の運用に係る説明会	3名	10月28日(金)	オンライン
令和4年度 生活福祉資金担当職員研修会 相談支援研修	1名	11月25日(金)	飯田橋セントラル プラザ 12階会議 室
新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口等特例貸付事務 説明会	1名	12月1日(木)	飯田橋レインボー ビル 2階会議室
生活福祉資金貸付事業 区市町村社協連携システ ム説明会	1名	1月27日(金)	オンライン

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付では、令和2年3月25日の受付開始以来、感染拡大の影響で生活費が不足する様々な世帯からの相談・申請に対応してきた。上半期は貸付期間が延長となったため、昨年度に引き続き貸付相談を行った。令和4年9月30日をもって新規申込の受付が終了となり、10月以降は償還方法や償還免除・償還猶予についての相談に応じた。

① 貸付相談(来所・電話相談等、延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
緊急小口資金	38	48	46	32	40	44	248
総合支援資金	30	26	32	30	26	78	222

② 貸付実績報告(辞退含まず) ※4月～9月に受付し貸付決定したもの

資金種類		貸付決定件数	貸付決定金額
コロナ特例貸付	緊急小口資金(1)	124件	24,650,000円
	総合支援資金(2)	111件	57,300,000円

※緊急小口資金は申請受付件数・金額を記載

③ 償還相談(来所・電話相談等、延べ件数)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金・ 総合支援資金	26	37	31	62	38	40	234

※種類別内容

- (1)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯への貸付。(上限20万円)

(2)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への貸付。

(2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内)

※総合支援資金延長貸付は令和 3 年 6 月、総合支援資金再貸付は令和 3 年 1 2 月末日をもって申込受付を終了している。

(4) 生活困窮世帯への支援 (ぼんたマーケットの開催)

新型コロナウイルス感染症等の影響で生活にお困りの世帯を対象に、社会福祉協議会でお預かりした地域の皆さんからのご寄付等を用いて「ぼんたマーケット (無償提供マーケット)」を実施した。

①6 月 20 日 (月) 利用者 ; 25 世帯

お米と食料品を世帯別にパッケージしたものをお渡しした。また、地域の農家よりご寄付いただいた野菜も併せてお渡しした。日用品については選択制とした。

②8 月 1 日 (月) ~17 日 (水) 利用者 ; 36 世帯/お米 ; 296kg

お米をお渡しした。単身、2 人、3~4 人、5 人以上と世帯人数別にお米の量を分けた。

③12 月 19 日 (月) ~26 日 (月) 利用者 52 世帯/お米 ; 358kg

お米と食品、日用品などをパッケージングしたものをお渡しした。

・物品提供 ; 地域のみなさま、環境資源循環部 (フードドライブ)、生活協同組合パルシステム東京、久米川町福祉協力員会、廻田町福祉協力員会、パーラーマイニチ東村山店 他

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

母子父子家庭高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学、資格取得を目指すひとり親家庭の親を対象とし、入学準備金・就職準備金を貸し付けた。地区社協は申込書・借用書の収受、送付業務を行った。東社協受託事業。

相談件数	入学準備金	就職準備金
3 件	2 件	1 件

4 応急小口資金貸付事業

低所得世帯が不測の事態により、緊急かつ一時的に生活資金が必要になった際に貸付を行った。また、ほっとシティ東村山による自立相談支援利用者に関しては柔軟に対応した。未償還者に対しては個別に連絡を試み、反応のない世帯には督促状を発行した。社協独自事業。

(1) 応急小口資金貸付

①貸付・償還業務

○貸付・償還件数及び金額

(件数及び金額は延べの数字)

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
78 件	910,562 円	84 件	830,992 円

※前年度以前の貸出金の償還も含む。

○相談経路

生活福祉課	8 件
自立相談課	25 件
ほっとシティ	16 件
他資金相談	2 件
地域包括支援センター	1 件
以前貸付利用	25 件
その他	1 件
合計	78 件

○世帯状況

生活保護申請中	30 件
生活保護受給中	17 件
就労中	17 件
老齢年金受給中	4 件
無職	10 件
その他	0 件
合計	78 件

②運営委員会

運営委員：5 名（社協理事）

日程	場所	内容
令和 4 年 7 月 26 日 (火)	社協・地域福祉活動室	令和 3 年度事業報告、償還免除について、意見・情報交換等

5 中部地域包括支援センター（基幹型）

(1) 地域型地域包括支援センターの統括

項 目	実 績
各地域型包括支援センターの統括	<p>①以前より地域型包括内で実施されていた業務を改めて見直し、共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待対応初動マニュアルの作成 ・安否確認マニュアル ・（ケース対応時）包括職員として気をつけたいこと ・ケアプラン点検の流れや役割の見直し <p>令和 4 年度～6 年度にかけて、市内で働くすべてのケアマネジャーに対し、市・包括・主任ケアマネジャーがケアプラン点検を実施する。今年度で 3 クール目（開始から 6 年が経過）となるにあたり、主任ケアマネジャー会議の中で課題を検討し、その方法を見直し、実施者向けに研修等を開催した。</p>
保険者・地域型地域包括支	<ul style="list-style-type: none"> ・定例協議 12 回 ・実務リーダー会議 11 回

援センターとの会議体の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待対応・関係機関連携強化会議 会議 8回 研修 3回 5月18日「記録とその取扱いについて」講師 松原 拓郎氏 8月17日「ほっとシティの業務内容について」 2月15日「各種マニュアルの読み合わせ」 5包括合同地域ケア会議「『虐待発見シート』の記入と虐待対応の流れ」 3月15日 61名参加 ・主任ケアマネジャー会議 7回 10月、1月開始のケアプラン点検支援の準備 点検者向けの研修、説明会の開催及び支援 点検受講者側の研修開催の支援
------------------	---

(2) 介護予防・生活支援体制整備事業の支援

項目	実績
生活支援コーディネーターの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市所管・第一層生活支援コーディネーターとの定例協議 12回 ・生活支援CO会議 12回（うち、研修2回） ・第一層協議体関係 9回 ・各地域型包括支援センターと社会福祉協議会まちづくり支援係との連携会議に参加（東部11回、西部9回、南部12回、北部10回、中部9回） ・介護予防大作戦関係 12回 ・西部圏域マッチングイベント開催に向けての協議 11回 西部圏域マッチングイベント開催支援 3月5日
自立支援型地域ケア会議の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議（東、西、南、北、中）7回参加 ・令和3年度自立支援型地域ケア会議から得られた課題についての協議担当者打合せ 12回 包括相談員研修「自立支援型地域ケア会議について」3月14日 把握された課題について会議を行い、解決方法を検討した。 引き続き残された課題と令和4年度に得られた課題について検討する。 ：課題検討の中から得られた成果としては、「コロナ禍でも人と繋がるハンドブック」の発行、並びに居宅介護支援事業者連絡会・包括支援センター・市・第一層生活支援コーディネーターとともに、ケアマネジャー向けに研修会「インフォーマルサービスについて」9月14日を開催につながった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績
介護保険事業者連絡会の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○居宅介護支援事業者連絡会（会員事業所50カ所） 総会 ZOOM開催：4月1日 役員会 12回 研修会 4回 ・主任介護支援専門員部会（ケアプラン点検担当・研修企画担当・制度業務担当）の運営支援（オンライン総会、打ち合わせなど13回） ○訪問介護事業者連絡会（会員事業所27カ所） ・総会（書面開催）：4月1日 ・役員会 6回（オンライン開催） ・サービス提供責任者部会 6回（オンライン開催） ○通所サービス事業者連絡会（会員事業所37カ所） 総会 オンライン開催：5月11日 役員会 6回：オンライン・対面などにて開催

	交流会・研修会 3回：9月28日、11月16日、2月15日 連絡会への連絡や細かい打合せはWEBツールを利用した。
--	--

(4) 専門的な支援の展開

項目	実績
在宅医療・介護連携の体制構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援窓口会議 10回 多職種連携研修 3回（10月25日、12月14日、2月2日） 家族介護者向け講座「介護者の心の健康を保つには」（3月22日） ○研修会への参画 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病医療介護連携の勉強会 76名参加（8月25日 オンライン開催） ・令和4年度カナミックネットワークミーティング 40名参加（9月22日 オンライン開催および現地） ○外部講師 1回 <ul style="list-style-type: none"> ・食と栄養でつながる北多摩-お隣会（9月30日 オンライン開催） テーマ：「地域包括支援センターとは【東村山版】」 ○市民普及啓発講座（我がごと講座） 「知ってもらいたい！在宅医療のおはなし」（2月25日） ○会議への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携推進委員会（7月12日、11月15日、2月9日）
認知症のある方に対する支援についての相談	<ul style="list-style-type: none"> ○相談件数 実人数 4名 延人数 5名 ○認知症施策会議 12回 ○会議への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・初期集中支援部会（ZOOM開催） ・北多摩認知症を考える会（ZOOM開催） ・認知症疾患医療介護連携会議（ZOOM開催）

6 中部地域包括支援センター（地域型；本町・久米川町・恩多町担当）

（1）総合相談支援

項目	実績																																															
日常的な相談支援	① 新規相談件数（件）																																															
		独居	高齢世帯	同居	入院	その他	合計																																									
	件数	230	202	176	80	53	741																																									
	(%)	31.0	27.3	23.8	10.8	7.1	100.0																																									
	② 相談件数（件）																																															
		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計																																									
	件数	5472	2318	300	198	140	8428																																									
	(%)	64.9	27.5	3.6	2.3	1.7	100.0																																									
	③ 相談内容																																															
	昨年度と同様、介護保険利用および認定申請に関する相談が多い。																																															
<table border="1"> <caption>相談内容の件数</caption> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険申請</td><td>633</td></tr> <tr><td>サービス改善要望</td><td>1109</td></tr> <tr><td>予防プラン関係</td><td>508</td></tr> <tr><td>施設入所</td><td>96</td></tr> <tr><td>保健医療</td><td>229</td></tr> <tr><td>助言担当医・歯科・薬剤師</td><td>15</td></tr> <tr><td>経済問題</td><td>51</td></tr> <tr><td>配食</td><td>36</td></tr> <tr><td>経過的支援</td><td>1070</td></tr> <tr><td>介護に関する支援</td><td>70</td></tr> <tr><td>ケアマネジャー支援</td><td>159</td></tr> <tr><td>虐待・権利擁護</td><td>399</td></tr> <tr><td>成年後見・地権</td><td>20</td></tr> <tr><td>家屋への支援</td><td>83</td></tr> <tr><td>安否確認</td><td>59</td></tr> <tr><td>見守り</td><td>68</td></tr> <tr><td>認知症の相談</td><td>139</td></tr> <tr><td>その他</td><td>624</td></tr> <tr><td>総合相談</td><td>319</td></tr> <tr><td>福祉用具購入・住宅改修</td><td>131</td></tr> </tbody> </table>							相談内容	件数	介護保険申請	633	サービス改善要望	1109	予防プラン関係	508	施設入所	96	保健医療	229	助言担当医・歯科・薬剤師	15	経済問題	51	配食	36	経過的支援	1070	介護に関する支援	70	ケアマネジャー支援	159	虐待・権利擁護	399	成年後見・地権	20	家屋への支援	83	安否確認	59	見守り	68	認知症の相談	139	その他	624	総合相談	319	福祉用具購入・住宅改修	131
相談内容	件数																																															
介護保険申請	633																																															
サービス改善要望	1109																																															
予防プラン関係	508																																															
施設入所	96																																															
保健医療	229																																															
助言担当医・歯科・薬剤師	15																																															
経済問題	51																																															
配食	36																																															
経過的支援	1070																																															
介護に関する支援	70																																															
ケアマネジャー支援	159																																															
虐待・権利擁護	399																																															
成年後見・地権	20																																															
家屋への支援	83																																															
安否確認	59																																															
見守り	68																																															
認知症の相談	139																																															
その他	624																																															
総合相談	319																																															
福祉用具購入・住宅改修	131																																															

④ 予防給付

担当圏域内で、介護保険サービスの利用を希望する要支援認定者及び事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントを実施した。また、利用者の同意が得られ事業所も受入が可能なケースについては、居宅介護支援事業所へ委託した。委託は全体の63.8%であった。ケアマネジメント件数は昨年度と比べて723件増加している。

介護予防ケアマネジメント件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	619	612	618	626	618	637
うち委託	397	394	389	391	399	403
うち新規	14	13	18	20	14	22
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
652	655	665	661	653	664	7680
421	421	418	422	423	425	4903
19	18	29	18	13	20	218

担当圏域の民生委員との連携

地域住民から受けた相談や、民生委員自身が気付いた地域課題について随時連絡を頂き、必要に応じて対象者への訪問・見守り等を行った。3町ごとに地域ケア会議を行い、高齢者虐待についての学習会と地域の高齢者に関する情報交換を行った。

民生委員不在地区訪問の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問はせず、民生委員不在地区の対象世帯に緊急連絡先確認書類及び啓発チラシを投函した。

広報紙の発行

①広報紙を発行、地域の高齢者及び関係者・関係団体(自治会・福祉協力店・民生委員・高齢者サロン・福祉団体など)に配布した。

号数	内容
春号 4月発行	特集；包括支援センターについて、感染症予防
夏号 9月発行	特集；STOP 高齢者虐待、家族介護者の会らくらっくの紹介

② 在宅療養支援窓口通信『どんとこい!』発行

目的：地域型包括支援センターの機能である在宅療養支援窓口の市民への普及啓発のため、在宅療養で起こりがちな困りごとや在宅療養を支える専門職の紹介を行った。

号数	内容
第3号 8月発行	「お薬との付き合い方」在宅におけるお薬の問題点について
第4号 2月発行	「コロナとの付き合い方」コロナ禍で地域の高齢者を守るために

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績																				
担当圏域の介護支援専門員への支援	<p>担当圏域の介護支援専門員が利用者に寄り添い、その人らしい日常生活を営むことを支援できるように介護支援専門員に対して支援を行った。</p> <p>① ケアプラン点検 ケアプラン点検全体打ち合わせ 1回 ケアプラン点検、点検者向け研修 1回 ケアプラン点検 10月4回 2月6回</p> <p>② 介護支援専門員への支援 地域の介護支援専門員からの相談に応じ、延べ159件の個別相談を行った。</p>																				
地域の連携体制の構築	<p>担当地域の医療・介護、その他の関係者が協働できるような地域の関係機関の連携体制の構築に努めた。</p> <p>① 地域ケア会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月17日</td> <td>地域ケア会議（ケアマネジャーとの情報交換による課題抽出）</td> </tr> <tr> <td>7月14日</td> <td>自立支援型地域ケア会議1（サービス卒業に向けて）</td> </tr> <tr> <td>9月15日</td> <td>多職種連携地域ケア会議（入院・入所で残るペットについて）</td> </tr> <tr> <td>9月16日</td> <td>担当地域部会（恩多町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）</td> </tr> <tr> <td>9月27日</td> <td>担当地域部会（本町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）</td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>担当地域部会（久米川町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）</td> </tr> <tr> <td>12月14日</td> <td>個別事例地域ケア会議（認知症高齢者の地域による見守り）</td> </tr> <tr> <td>12月22日</td> <td>自立支援型地域ケア会議2（サービス卒業に向けて）</td> </tr> <tr> <td>3月15日</td> <td>多職種連携地域ケア会議（高齢者虐待について）</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 在宅療養支援窓口の利用 21件（助言担当医への相談、往診依頼、地域ケア会議への参加等）</p>	月日	テーマ	5月17日	地域ケア会議（ケアマネジャーとの情報交換による課題抽出）	7月14日	自立支援型地域ケア会議1（サービス卒業に向けて）	9月15日	多職種連携地域ケア会議（入院・入所で残るペットについて）	9月16日	担当地域部会（恩多町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）	9月27日	担当地域部会（本町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）	9月30日	担当地域部会（久米川町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）	12月14日	個別事例地域ケア会議（認知症高齢者の地域による見守り）	12月22日	自立支援型地域ケア会議2（サービス卒業に向けて）	3月15日	多職種連携地域ケア会議（高齢者虐待について）
月日	テーマ																				
5月17日	地域ケア会議（ケアマネジャーとの情報交換による課題抽出）																				
7月14日	自立支援型地域ケア会議1（サービス卒業に向けて）																				
9月15日	多職種連携地域ケア会議（入院・入所で残るペットについて）																				
9月16日	担当地域部会（恩多町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）																				
9月27日	担当地域部会（本町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）																				
9月30日	担当地域部会（久米川町民生委員との情報共有、高齢者虐待について）																				
12月14日	個別事例地域ケア会議（認知症高齢者の地域による見守り）																				
12月22日	自立支援型地域ケア会議2（サービス卒業に向けて）																				
3月15日	多職種連携地域ケア会議（高齢者虐待について）																				

(3) 地域ネットワーク構築

項目	実績								
認知症サポーター養成講座の開催	<p>下半期実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>10月24日（認サポ）</td> <td>スポーツセンター</td> </tr> <tr> <td>1月23日（ステップアップ）</td> <td>スポーツセンター</td> </tr> <tr> <td>2月17日（小学校認サポ）</td> <td>久米川東小学校</td> </tr> <tr> <td>3月13日（サポーター交流会）</td> <td>市民センター</td> </tr> </tbody> </table>	10月24日（認サポ）	スポーツセンター	1月23日（ステップアップ）	スポーツセンター	2月17日（小学校認サポ）	久米川東小学校	3月13日（サポーター交流会）	市民センター
10月24日（認サポ）	スポーツセンター								
1月23日（ステップアップ）	スポーツセンター								
2月17日（小学校認サポ）	久米川東小学校								
3月13日（サポーター交流会）	市民センター								
協議体の開催	<p>○高齢者の生活課題に関するアンケート調査 第2層生活支援コーディネーターの活動目標として、「各地域住民の生活実態とニーズの把握」「生活支援サービスの創出」がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の生活課題のアンケート」を1自治会に実施した。まとめは次年度の自治会総会で報告する予定で、協議体形成につなげていきたい。 ・また昨年度、一昨年度に調査を実施した2か所については、協議体を形成し、継続的な支援を行う中で定例的な話し合いやサロン活動等が行われている。 <p>○ケアマネジャーによる「えんがわ介護そうだん」の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護相談のアウトリーチと地域活動拠点支援、活動の開発を目的に久米川町4丁目にある「縁ひらく庭 百才（ももとせ）」にて、市内6ヶ所の居宅介護支援 								

	<p>事業所の協力を得て、毎週火曜日の午後「えんがわ介護そうだん」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間中（5月10日～12月20日）36件の相談を受けた。 ・若い世代への介護相談の周知や来場者を増やすことを目的に夏休み企画（7～8月の5回に渡ってハーバリウムづくり、ヨーヨー釣りなど）を行った。（参加者35名） ・3/28より介護サロン「ほんちょうカフェ」として会場を本町の「多目的スペース本町」に変更し本町の居宅介護支援事業所も参加して再スタートとなった。
見守りネットワークの支援	<p>○高齢者見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」の活動をまちづくり支援係と連携して運営支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会を7回開催した。 ・広報紙「本町だいじょうぶだぁネット通信」（第2号）を2000部発行し、だいじょうぶだぁネット会員、本町の自治会に配布した。 ・コロナ禍により郵送により総会を実施した。 ・報告会・研修会（エンディングノートについて・簡単な体操）を行った。7月2日（土） ・市の見守り活動助成の申請手続きの支援を行った。 ・地域福祉活動計画の「町なか護美プロジェクト」に賛同し、地域の施設に協力してもらい、ゴミ拾い活動を実施した。（11/5・4丁目）（3/11・3丁目）
介護予防活動連携支援	<p>○まちづくり支援係と共に圏域の「介護予防大作線」の会議及び当日に参加し支援した。（11回）</p> <p>○地域のサロンに地域包括支援センターのPR・高齢者福祉の理解等を図るため、関係機関等からの依頼に応じて広報啓発活動やミニ講座を実施すると共に、コロナ禍での活動再開の相談を含め、活動支援の相談を実施した。（173回）</p>
まちづくり支援係との連携	<p>まちづくり支援係との連携会議を定例開催（11回）し、圏域の情報交換や地域課題について、協議体の持ち方などについて検討を行った。</p>

（４）その他の業務

諸会議等への参加	<p>中部エリア内の介護事業所が行う運営推進会議に出席した。</p>
実習受入	<p>社協・社会福祉士実習の受け入れを行った。</p> <p>国立看護大学より看護実習生の受け入れを行った。</p> <p>杏林大学より看護実習生の受け入れを行った。</p> <p>大妻女子大学より社会福祉士実習の受け入れを行った。</p>

7 東村山市基幹相談支援センター

基幹相談支援センターとして、特定相談支援事業所等関係機関からの相談を受け、カンファレンスの設定・参加、ケース活動の支援等の他、東村山市障害者自立支援協議会の事務局として各種会議の運営にあたった。

また、障害者相談支援事業として適切な支援につながない障害者への情報提供など支援を行った。指定一般相談支援事業としては、1名の契約者にサービス提供を行った。

(1) 基幹相談支援センター（発展・強化計画関連事業）

①一般的な相談支援（障害者相談支援事業）

相談支援を利用している障害者等の人数

	身体	重身	知的	精神	発達	高次脳	その他	実人員
障害者	31	0	105	107	3	2	27	275
障害児	1	0	1	1	0	0	1	4
計	32	0	106	108	3	2	28	279

支援方法

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	379	405	323	2185	62	528	103	3985

支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	677	261	682	583	42	355	413	1071	212
	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	43	146	292	4777					

②指定特定相談支援事業所等の支援

指定特定相談支援事業所が担当しているケースカンファレンスに参加・助言・ケース支援等を行った。

- ・支援困難ケースの支援（カンファレンス参加等）

計画相談からの依頼：延べ24ケース

ケアマネージャーからの依頼：延べ6ケース

③地域移行推進のための体制整備事業

④障害者虐待の防止、早期発見のための事業

通報にもとづき、市とともに事業所等へ訪問調査を行った。

延べ15ケース

⑤成年後見制度利用支援事業

⑥東村山市障害者自立支援協議会の運営

- ・定例会の開催

回	月 日	内 容
1	8月3日（水） 14:00～15:30	委員の改選、役員選出、専門部会報告、研修会の実施について

2	12月27日(火) 14:00~15:30	専門部会報告、研修会の実施について
3	3月20日(月) 14:00~15:30	専門部会報告、研修会報告、事業所ビデオ視聴、次年度計画

・相談支援部会の開催(毎月第3木曜10:00~12:00)

回	月日	内容
1	4月21日	・令和4年度の予定の検討
2	5月19日	・野中式事例検討
3	6月16日	・インフォーマルな
4	7月21日	・野中式事例検討
5	8月18日	・役員選出、地域課題について
6	9月15日	・野中式事例検討
7	10月20日	・ケアマネージャーとの合同研修 世帯全体の支援を考える ～ヤングケアラーについて知ることを通して～
8	11月17日	・野中式事例検討
9	12月15日	・子ども家庭支援センターについて
10	1月19日	・野中式事例検討
11	2月16日	・年齢ごとの制度について
12	3月16日	・ふりかえり、次年度計画

・就労支援部会の開催(隔月最終月曜日、15:00~)

回	月日	内容
1	5月30日(月)	・令和4年度の予定 ・就労系サービス事業所の紹介動画の作成について
2	7月25日(月)	・動画作成のスケジュールについて
3	8月29日(月)	・役員選出、動画説明会の開催について
	8月29日(月) 16:30~17:30	・就労系サービス事業所動画作成に関する説明会
4	9月26日(月)	・動画作成のスケジュールの確認、情報交換
5	11月28日(月)	・動画撮影、2次利用、タイトルとロゴマークについて
6	1月30日(月)	・公開までのスケジュール、視聴方法について
7	3月27日(月)	・動画視聴、今年度の振り返り、来年度の予定について

・地域生活支援部会の開催

回	月日	内容
1	6月10日(金) 10:00~19:00 6月11日(土) 9:00~16:00	・障害福祉の就職相談会開催(12団体出展) 10日:就職相談会(参加者9名) 11日:講演会「福祉人材の開発」(永嶋昌樹氏) 就職相談会(参加者4名)
2	7月28日(木) 14:00~15:30	・人材確保イベントの報告 ・今後の部会活動について
3	8月17日 14:00~15:30	・役員選出 ・今後の部会活動について
4	11月8日(火) 14:00~15:30	・拠点対象事例について、グループワーク、人材確保について
5	2月2日(木) 14:00~15:30	・来年度の取り組みについて、年間予定について

・その他

運営会議:7月4日、12月9日、3月9日

⑦地域生活支援拠点のコーディネート業務

⑧地域の関係機関等への支援

東京都相談支援従事者初任者研修 受講者スーパーバイズ 6件

東京都相談支援従事者現任研修 受講者スーパーバイズ 7件

⑨ヘルプカードの周知・配布活動

(2) 一般相談支援事業

地域相談支援契約者数

・地域移行支援：1件 ・地域定着支援：0件

(3) 障害者の余暇・交流活動の支援

①日曜くらぶ

主に知的障害や身体障害のある障害者を対象に、余暇活動支援を目的として実施。

登録者：27名

日時	主な内容	場所	参加者	職員他
7月24日 10:00～12:00	ボッチャ	社協 地域福祉活動室	12名	4名
11月27日 10:20～11:30	ボウリング	久米川ボウル	10名	4名

②「おしゃべり会」(毎月第2月曜 10:00～12:00/るーと活動室)

身体障害や難病を抱える方を対象に、日常生活課題等の意見や情報交換、交流の場を提供。

・実施日(1回)；4/11、5/9、6/13、7/11、10/17、11/14、3/13

※8月、9月、1月は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

12月は参加者遅刻のため、個別での対応を行った。

2月は参加者0人のため中止とした。

・参加者；22名(延べ)

(4) 関係機関とのネットワーク活動

①居宅介護サービス事業者交流会(隔月第三金曜日18:30～)

月日	内容	担当事業所
4月15日	悩み・困りごとの共有、人材確保について	サンケアネット
6月17日	感染症対策について	おおきな木
8月12日	虐待防止研修	よふき・サンケア
10月21日	「ハラスメントマニュアル」について	SESSE・えがお
12月16日	「カスタマーハラスメント」について	るーと
2月17日	計画相談との交流会	ひだまり
3月17日	年度まとめ、来年度予定	サンケアネット

②障害年金相談会の実施(毎月第一月曜13:30～、1回50分×3コマ)

社会保険労務士による無料相談

4/4、5/9、6/6、7/13、8/1、9/5、10/3、11/7、12/5、12/16、1/11、1/16、2/6、3/6 全14回
開催、計32名の相談を受けた

③各種会議への参加

障害福祉計画推進部会、東村山市自殺対策推進協議会、成年後見制度初期窓口ネットワーク会議（ZOOM開催）、精神保健福祉ケア検討会（再掲）、精神障害者地域移行体制整備支援事業圏域別会議

(5) 情報提供・広報・啓発活動

・なし

8 福祉サービス総合支援事業（地域福祉権利擁護事業含む）

市内に在住する要援護者が福祉サービスを利用して、安心して地域で暮らしていただけるように、福祉サービスに関する利用相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用に際しての苦情対応、判断能力が不十分な方々の権利擁護相談等の支援を総合的・一体的に提供する窓口を設置し、地域福祉権利擁護事業と一体的に運営した。

(1) 利用者サポート

①福祉サービスの利用に際しての苦情対応（介護保険制度を除く）：4件

②判断能力の不十分な方々の権利擁護相談（新規）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	5	4	1	2	3	2	3	5	2	2	5	35

③成年後見制度の利用相談 →成年後見制度推進事業相談実績を参照

④その他福祉サービス利用に関する専門的な相談 3件

(2) 福祉サービス利用援助事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方々に対し、地域で自立した生活を維持できるよう支援した（福祉サービス利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス）。

○契約者数（令和5年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合計
契約者	38 (44)	24 (23)	27 (24)	6 (6)	95 (97)
うち生活保護 受給者	14	9	14	1	38

○新規契約者数

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合計

契約者	11	2	5	0	18
-----	----	---	---	---	----

○終了・解約者数

理由	死亡	施設入所 長期入院	判断能力低下 (内、後見人等へ引継)	本人自立	その他	合計
解約者	7	2	6 (6)	1	4	20

※その他内訳…他地区転居 (3)、不動産処分のため後見人等へ引継ぎ (1)

○相談支援件数 (未契約支援も含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ (制度・事業について)	1	4	11	3	2	10	4	5	3	13	2	5	63
初回利用相談	3	2	6	4	5	4	9	5	3	10	1	2	54
継続相談支援	403	365	403	402	471	486	393	412	482	371	385	433	5,006
合計	407	371	420	409	478	500	406	422	488	394	388	440	5,123

②対象拡大事業

地域福祉権利擁護事業の対象を、判断能力を有する要支援・要介護高齢者並びに身体障害者等にも拡大し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

○契約者数 (令和5年3月末現在)

※ () 内は前年度数値

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	不明 その他	合計
2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)

○相談支援件数 (未契約支援も含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ (制度・事業について)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
初回利用相談	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
継続相談支援	2	3	3	1	1	1	1	2	1	1	1	2	19
合計	2	4	3	1	1	1	3	2	2	1	1	4	25

(3) 苦情対応・専門相談の実施

弁護士による専門相談を実施。利用者支援の各相談窓口から引き継いだ苦情及び権利擁護相談に関して専門的見地からの助言等を行っている。

【相談日時】毎月第4金曜日 (14時～16時 30分×4コマ)

【場所】社会福祉協議会内相談室

【専門相談員】弁護士1名（多摩パブリック法律事務所より派遣）

○相談件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	1	4	3	0	3	2	1	1	2	1	1	2	21
知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
精神障害者	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
身体障害者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	4	4	0	4	3	1	2	4	2	1	2	28

(4) 会議・研修等

①専門員・業務担当者研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
4/22 (金)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 新任専門員・業務担当者研修 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
6/22 (水)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 生活保護制度・生活困窮者自立支援制度の理解 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	3名
11/24 (木)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「地域福祉権利擁護事業におけるコミュニティソーシャルワークの視点と実践」	東京都社会福祉協議会	1名
12/16 (金)	令和4年度 北多摩北部ブロック 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「WEB関連の支援で困っていること」 (オンライン)	東村山市社会福祉協議会	5名
1/17 (火)	令和4年度第1回 区市町村苦情対応機関 専門研修「過剰な要求への相談対応について」 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	2名
2/24 (金)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「事例検討」	東京都社会福祉協議会	1名

②生活支援員研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/10 (火)	令和4年度 第1回地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会 (オンライン+会場)	東村山市社会福祉協議会	20名
7/12 (火)	令和4年度 第2回地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会 (オンライン+会場)	東村山市社会福祉協議会	19名
9/13 (火)	令和4年度 第3回地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会 (オンライン+会場)	東村山市社会福祉協議会	20名
10/3 (月)	新人生活支援員研修	東村山市社会福祉協議会	3名
10/5 (水) 10/7 (金)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 新任生活支援員研修会 (動画視聴)	東京都社会福祉協議会	3名
3/14 (火)	令和4年度 第4回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会 (オンライン+会場)	東村山市社会福祉協議会	21名
3/31 (金)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 現任生活支援員研修会 (動画視聴)	東京都社会福祉協議会	20名

③会議

日付	研修・会議名	主催	参加者
6/20 (月)	令和4年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
6/3 (金)	令和4年度 第1回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	東村山市社会福祉協議会	4名
8/2 (火)	令和4年度 第2回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	東村山市社会福祉協議会	3名
10/18 (火)	令和4年度 第3回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	東村山市社会福祉協議会	4名
10/27 (木)	福祉サービス運営適正化委員会 ・利用援助事業合議体現地調査 (オンライン)	福祉サービス運営適正化 委員会・利用援助事業合 議体	4名
12/1 (木)	令和4年度 地域福祉権利擁護事業 センター長会議 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
2/3 (金)	令和4年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会	東京都社会福祉協議会	1名
3/7 (火)	令和4年度 第4回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議 (オンライン)	東村山市社会福祉協議会	3名

④広報・周知等

日 時	内 容	対象者	人数
6/21(火)	初期相談窓口ネットワーク会議(オンライン) 「成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業等 関連諸制度について」	行政所管課職員・各地域包括 支援センター等 11 か所	12 名
9/17(土)	出前講座「地域福祉権利擁護事業、 成年後見制度について」	空の間プロジェクト みんなの終活セミナー受講生	41 名
1/31(火)	初期相談窓口ネットワーク会議(オンライン) 「任意後見制度の概要と状況/地域福祉権利擁 護事業および各事業の概況、事例紹介」	行政所管課職員・各地域包括 支援センター等 10 か所	13 名

9 成年後見制度推進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き一部の会議や講座をオンライン開催で実施した。相談内容について、成年後見人等就任後に生じたトラブルの相談が多い傾向が見られた。法人後見監督受任後初めて、本人死去のため1件支援終了となった。監督人として市民後見人を支援し、家庭裁判所や顧問弁護士から助言をいただきながら、死後事務を行った。

また、今年度は令和4年度市民後見人等候補者養成課程の1年目であり、感染対策を講じながら対面及びオンラインにて説明会と講習を実施した。7市合同市民後見人等候補者養成講習では、副幹事市として円滑に進められるよう努めた。

(1) 成年後見人等の支援

①成年後見制度の利用相談・問合せ

○問合せ・新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	17	9	15	11	25	24	12	15	18	18	16	28	208
知的障害者	0	0	3	0	1	1	1	0	0	0	7	2	15
精神障害者	6	2	4	2	3	2	2	2	2	3	4	3	35
その他/不明	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0	1	0	8
合計	23	11	23	14	33	28	15	17	20	21	28	33	266

○問合せ・新規相談件数の内訳（複数回答）

項 目	件数	項 目	件数
成年後見制度利用・手続き等	225	遺言作成	14
任意後見制度利用・手続き等	43	親亡き後	5
専門職の紹介等	15	相続手続き	23
後見人等就任後の業務	17	債務問題	9
監督人との問題	0	消費者被害	2

後見人等の辞任について	4	金銭搾取、経済的虐待	2
日常的金銭管理	64	親族間紛争	5
財産（不動産含む）の管理	16	入院費、施設利用料等の支払い	39
預貯金の取引、解約	11	将来・死後	25
福祉サービス利用、入所等契約	9	不明／その他	0
合 計			528

○継続相談支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	111	77	101	79	101	101	101	107	101	65	81	123	1,148
知的障害者	5	3	5	10	7	1	6	6	4	4	14	20	85
精神障害者	11	16	19	11	12	5	17	10	21	9	39	43	213
その他／不明	0	2	3	4	4	1	2	0	0	1	0	0	17
合計	127	98	128	104	124	108	126	123	126	79	134	186	1,463

②成年後見人等支援のための実務研修、連絡会等

○公開講座

・関係者向け講座

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	7/28 (木) 14:00～16:30	成年後見制度について ～基礎編～ (オンライン)	ぱあとなあ東京 岡野範子氏	52名
2	10/19 (水) 14:00～16:30	成年後見制度について ～応用編～ (オンライン)	ぱあとなあ東京 岡野範子氏	27名

・市民向け講座

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	10/29 (土) 10:00～12:00	知って役立つ！ 成年後見制度	リーガルサポート東京 大坂谷芙美枝氏	26名
2	3/4 (土) 10:00～12:00	知って役立つ！ 成年後見制度	リーガルサポート東京 大坂谷芙美枝氏	31名

・親族後見人向け個別相談会

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	2/28 (火) 13:30～16:00	親族後見人向け個別相談会	リーガルサポート東京 真坂武氏	2件

・出前講座

	日 時	内 容	対象者	参加者
1	9/17 (土) 11:00～12:00	地域福祉権利擁護事業、 成年後見制度について	空の間プロジェクト みんなの終活セミナー	41名
2	11/16 (水) 10:00～11:00	成年後見制度について	東村山市民生委員・児 童委員 高齢福祉部会	15名
3	12/6 (火) 10:00～12:00	成年後見制度について	山鳩会合同父母会	60名

③その他の取組み

○市長申立て数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	6
知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	2	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	8

○緊急的な事務管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
終了	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
管理中	5	4	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	

○第三者後見人等候補者紹介（取下げ含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弁護士	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	7
司法書士	3	2	1	0	2	0	4	3	1	2	2	4	24
社会福祉士	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	1	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	3	3	4	2	2	0	5	3	2	2	4	8	38

○その他専門職紹介内訳；申立書類作成4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弁護士	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
司法書士	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4

○地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行ケース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後見	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
保佐	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	5
補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	7

(2) 地域ネットワークの活用

①初期相談窓口ネットワーク会議（主催）

	日 時	内 容	出席者
1	6/21（火） 10:00～11:30	・成年後見制度および関連諸制度について ・成年後見制度推進機関と初期相談窓口の連携、会議体について ・市民後見人について (オンライン)	12名
2	1/31（火） 10:00～11:30	・任意後見制度の概要と状況 ・地域福祉権利擁護事業および各事業の概況、事例紹介 (オンライン)	13名

②ケース検討会議（主催）

	日 時	件 数（内容）	出席者
1	5/23（月）9:30～11:30	4件（市長申立ての検討）	計6名
2	7/20（水）9:30～11:30	4件（市長申立ての検討）	計3名
3	9/28（水）9:30～11:30	4件（市長申立ての検討）	計7名
4	12/21（水）9:30～11:00	3件（市長申立ての検討）	計10名

③専門職団体との業務連絡会（主催）

	日 時	内 容	出席者
1	7/13（水） 10:00～11:30	リーガルサポートとの情報交換 （事業報告、課題共有等） (オンライン)	10名

④その他

	日 時	内 容	出席者
1	10/17（月） 13:30～16:30	成年後見制度利用促進基本計画に関する第8回連絡会「第二期基本計画を踏まえた地域連携ネットワークの在り方」 (オンライン)	2名
2	10/24（月） 14:00～16:00	地域と家裁の連絡会 (オンライン)	2名
3	11/28（月） 13:00～15:00	東京都成年後見地域連携ネットワーク会議 (オンライン)	2名
4	11/28（月） 15:10～16:40	東京都成年後見制度推進機関連絡会 (オンライン)	2名
5	2/27（月） 14:00～16:00	令和4年度第2回利用者支援区市町村連絡会 (オンライン)	2名

(3) 運営委員会

①運営委員会の開催

	日 時	内 容	出席者
1	8/29（月） 13:30～15:00	令和4年度事業計画、令和4年度上半期事業報告（令和4年4月～7月）、第二期成年後見制度利用促進基本計画について (オンライン)	13名

2	2/21 (火) 13:30~15:00	令和4年度下半期事業報告（令和4年8月～12月）、令和4年度相談事例から見える課題、成年後見制度 報酬助成の拡大について（オンライン）	12名
---	-------------------------	---	-----

(4) 法人後見監督の受任（発展・強化計画関連事業）

①法人後見監督の受任状況

○法人後見監督受任状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
受任中	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

○法人後見監督受任ケース一覧

	性別	申立日	審判日	終了日	類型	原因障害
1	女	H29/ 9/29	H29/10/16	R4/7/10	後見	認知症、精神障害
2	女	R 1/ 8/28	R 1/ 9/13		後見	認知症、知的障害
3	男	R 1/11/ 6	R 1/11/29		後見	認知症
4	男	R 3/ 4/30	R 3/ 5/13		後見	精神障害

○法人後見監督 相談支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	15	19	7	10	9	3	5	10	5	1	89

(5) 市民後見人等候補者の養成及び支援の一体的実施（発展・強化計画関連事業）

平成27年度（2015年度）より、近隣7市（小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、三鷹市、武蔵野市、東村山市）による市民後見人候補者等養成に関する合同会議を開催。平成28年度より隔年で基礎講習およびフォローアップ講習を合同開催している。

令和4年度（2022年度）は7市合同市民後見人等候補者養成基礎講習を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web会議ツールを使用したオンラインにて開催した。幹事市は小金井市、副幹事市は東村山市。

①市民後見人の養成

○登録状況推移 現在13名（うち1名は東京都修了生）

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	合計
基礎講習修了者	6	0		2		4		2	14
新規登録者	0	6	0	0	2	1※	4	0	13
登録解除者		0	0	0	0	0	0	0	0
登録者計	0	6	6	6	8	9	13	13	

※他市在住のH25年度東京都養成講習修了生が市内転入により当市へ登録

○市民後見人等養成受講説明会（主催）

	日 時	内 容	参加者
1	10/4（火） 13:30～15:30	東村山市市民後見人等養成事業について（成年後見制度、市民後見人等養成事業、地域福祉権利擁護事業の実習活動等）	4名

※申込みは6名あったが2名不参加。

○市民後見人等養成入門講習（東村山市成年後見制度推進機関主催）※対面講習

	日 時	講座名	講 師	参加者
1	11/22 （火）	13:15～ 14:45	「権利擁護の視点で地域を見守るとは～地域の課題と法的視点～」 弁護士 松原拓郎氏	2名
2		15:00～ 17:00	「成年後見制度の基本理念と概要／後見人の実務について」 リーガルサポート 東京 小室博志氏	2名
3	11/29 （火）	13:00～ 14:30	後見人に必要な相談援助の基本と福祉サービスの知識について ぽあとなあ東京 宮田敏行氏	2名
4		14:45～ 15:45	市民後見人からの実践報告 東村山市市民後見人 遠藤恵介氏	2名
5		15:45～ 16:45	地域福祉権利擁護事業の理解と生活支援員の活動 権利擁護係係長 吉次綾子	2名

○7市合同後見人等候補者養成基礎講習※オンライン講習（最終日2/20（月）のみ対面講習）

	日 時	講座名	講 師	参加者 ※東村山
		10:00～ 10:15	開講式／オリエンテーション	2名
1	1/23 （月）	10:15～ 11:45	市民後見人に期待すること リーガルサポート 東京 稲岡秀之氏	2名
2		13:30～ 16:30	成年後見制度の基本理念とその概要 同上	2名
3		10:00～ 12:00	支援のための法律知識 弁護士 松原拓郎氏	2名
4	1/30 （月）	13:30～ 15:00	知的障害の理解コミュニケーションについて～対話をして寄り添いましょう～ 東洋大学教授 高山直樹氏	2名
5		15:15～ 16:45	障害者の理解と対象者理解「精神障害について」 えぼっく精神保健福祉士原埜雄司氏	2名
6	2/6 （月）	10:00～ 12:00	消費者被害の実態とその対応 武蔵野市 消費生活センター 森町明美氏	2名
7		13:30～ 15:00	本人を支える意思決定支援と社会資源のつなぎ方 社会福祉士 横田昌志氏	2名
8		15:15～ 16:45	講習前半を振り返って	2名
9	2/16 （木）	10:00～ 12:00	被後見人に対する基本的な支援 弁護士 清水光子氏	2名
10		13:30～ 15:00	医療的アプローチ「認知症の方の見える世界を理解する」 医師 木之下徹氏／精神保健福祉士 青山聡子氏	2名

11	2/20 (月)	10:00～ 11:30	後見人からの実践レポート	リーガルサポート 東京 河西麻子氏	2名
12		11:45～ 12:30	市民後見人からの実践報告	西東京市 社会福祉協議会 市民後見人2名	2名
13		13:30～ 16:30	いろいろな場面を通じて 成年後見人として対応を考える	ばあとなあ東京 田中康一氏	2名
		16:30～ 16:45	閉講式		2名

○市民後見人等養成基礎講習Ⅱ（東村山市成年後見制度推進機関主催）※対面講習

		日 時	内 容	参加者
1	3/22 (水)	10:00～ 12:00	東村山市における市民後見人活動について、生活支援員採用に関する事務連絡	2名
		13:00～ 16:00	生活支援員実習について	2名

②市民後見人等候補者の支援

○市民後見人等候補者連絡会（主催）

		日 時	内 容	参加者
1		8/30 (火) 20:00～20:30	市民後見人のケース受任状況、連絡事項、情報交換 (オンライン+会場)	13名
2		2/4 (土) 11:30～12:00	市民後見人のケース受任状況、連絡事項、情報交換 (オンライン+会場)	8名

○市民後見人等候補者フォローアップ講習（主催）

		日 時	内 容	講 師	参加者
1		8/30 (火) 18:30～20:00	受任している市民後見人の活動 状況について (オンライン+会場)	市民後見人 4名	13名
2		2/4 (土) 10:00～11:30	成年後見人の実務① (オンライン+会場)	リーガルサポート東京 河西麻子氏	8名

※上記連絡会と同日開催

③会議の開催等

○成年後見事例検討会（主催）

		日 時	件数 (内容)	出席者
1		5/26 (木) 15:00～17:00	2件 (支援検討) (オンライン)	計13名
2		8/29 (月) 15:15～16:30	1件 (支援検討) (オンライン)	10名
3		11/28 (月) 10:00～11:30	1件 (支援検討) (オンライン)	11名
4		2/21 (火) 15:15～16:30	1件 (事例検討) (オンライン)	11名

④会議の出席等

○7市合同後見人等候補者養成講習事務局会議

	日 時	内 容	出席者
1	7/4 (月) 15:30~17:00	令和3年度7市合同市民後見人等フォローアップ講習事業の振り返りについて、令和4年度7市合同後見人等候補者養成講習事業について (オンライン)	3名
2	9/12 (月) 14:00~15:30	令和4年度7市合同後見人等候補者養成講習事業について (カリキュラムの決定等) 等 (オンライン)	1名
3	3/29 (水) 14:00~15:30	令和4年度7市合同市民後見人養成基礎講習の振り返り、令和5年度フォローアップ講習等 (オンライン)	3名

(6) その他推進機関業務

①推進機関業務

○地域福祉推進課との定例協議

	日 時	内 容
1	4/20 (水)	成年後見事例検討会、ケース検討会議、初期相談窓口ネットワーク会議、市長申立てケース等
2	5/23 (月)	市民後見人等養成事業、初期相談窓口ネットワーク会議、関係者向け講座、市長申立てケース等
3	6/29 (水)	市民後見人等養成事業、リーガルサポート業務連絡会、関係者向け成年後見講座、運営委員会、事例検討会等
4	7/20 (水)	運営委員会、事例検討会、ケース検討会議、市民向け講座、市長申立てケース等
5	8/23 (火)	市民後見人等養成事業、運営委員会、事例検討会、親族向け個別相談会、ケース検討会議、市長申立てケース等
6	9/26 (月)	親族向け個別相談会延期、ケース検討会議、市民後見人養成講習説明会、市長申立てケース等
7	10/13 (木)	市民後見人養成事業、関係者向け講座、市民向け講座、事例検討会、地域と家裁の連絡会等各種会議、市長申立てケース等
8	11/25 (金)	市民後見人養成事業、事例検討会、ケース検討会議、初期相談窓口ネットワーク会議、市長申立てケース、再検討会議等
9	12/15 (木)	市民後見人養成事業、ケース検討会議、初期相談窓口ネットワーク会議、市長申立てケース、運営委員会・事例検討会等
10	1/24 (火)	市民後見人養成事業、初期相談窓口ネットワーク会議、市民後見人等候補者フォローアップ研修・連絡会、運営委員会・事例検討会等
11	2/22 (火)	市民後見人養成事業、親族後見人向け個別相談会、市民向け講座、ケース検討会議、各種会議等
12	3/16 (木)	市民後見人養成事業、市長申立てケース、関係機関への対応、中核機関、報酬助成について等

○顧問弁護士相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日	8	13	6	8	12	9	14	15	9	13	15	10	
件数	5	5	6	4	6	4	4	2	4	5	2	4	51

②会議・連絡会への参加

○成年後見制度推進機関テーマ別研究会議

	日 時	内 容	出席者
1	7/27 (水) 14:00～16:30	成年後見制度の利用促進に向けた取組み～権利擁護支援の理解促進に向けた広報・周知について～ (オンライン)	2名
2	12/19 (月) 14:00～16:30	「成年後見制度の担い手の確保・育成等について～『社会貢献型後見人(市民後見人)』および『法人後見』に焦点をあてる～」 (オンライン)	1名
3	3/9 (木) 14:00～16:30	地域福祉権利擁護事業と成年後見制度の連携について～『保佐類型』および『補助類型』に焦点をあてる～※中里主任より実践報告 (オンライン)	2名

○その他研修

	日 時	内 容	出席者
1	5/27 (金) 10:00～16:50	第158回市町村職員を対象とするセミナー「第二期成年後見制度利用促進基本計画における市町村・都道府県の役割・取組～計画を具体的に理解するための実践報告と解説～」 (オンライン)	3名
2	7/22 (金) 13:00～16:30	成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護支援に係る地域巡回自治体セミナー～中核機関整備・都道府県協議会設置の進め方と身寄りのない方の支援について～ (オンライン)	3名
3	2/10 (金) 13:00～15:45	持続可能な権利擁護支援モデル事業「モデル事業テーマ③について理解する、実践の状況を知る」 (オンライン)	3名
4	3/3 (金) 10:00～12:00	令和4年度第3回成年後見制度推進機関フォローアップ研修「身元保証問題と権利擁護」(オンライン)	2名
5	9月～3月 14時間30分	令和4年度 成年後見制度利用促進体制整備研修 (オンデマンド配信研修) 1. 成年後見制度利用促進法と基本計画 2. 権利擁護支援の理解 3. 意思決定支援の基本 4. 成年後見制度の基礎 5. 関連諸制度について 6. 市町村長申立てと地域連携ネットワーク 7. 家庭裁判所について	1名

③その他

○実習生受け入れ 計4名 (9～10月)

Ⅲ 在宅福祉サービス事業

1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業

事業所の新型コロナウイルス対策では、引き続きケアマネジャー自身が感染防止につとめると同時に、利用者の不安に対しては厚生労働省の「発出した事業者における人員基準等の柔軟な取り扱い」に倣って非接触の方法を優先しながらケアマネジメントを行うこともあった。

令和3年度介護保険制度改正において3年間の経過措置とうたわれた業務継続計画の策定や感染症の予防及びまん延防止のための指針づくり、高齢者虐待防止に関する取り組みを行った。

(1) 居宅介護支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援

① ケアマネジメントの実施、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援の受託

要介護度別介護報酬請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
予防受託	15	14	17	15	16	16	18	18	17	23	14	14	197	18.3
要介護1	30	28	26	26	28	29	29	28	29	33	33	29	348	32.3
要介護2	18	19	18	18	17	19	20	20	18	19	17	18	221	20.5
要介護3	18	17	17	18	16	18	18	18	17	18	16	15	206	19.1
要介護4	4	4	5	4	4	3	4	5	7	7	7	6	60	5.6
要介護5	6	6	6	5	6	5	4	3	2	1	1	1	46	4.2
合計	91	88	89	86	87	90	93	92	90	101	88	83	1078	100.0

※予防受託は要支援者と事業対象者の合計（地域包括支援センターからプラン作成を受託）

加算の請求件数

加算内容	件数	加算内容	件数
初回加算	16	入院時情報連携加算Ⅰ	2
退院・退所加算Ⅰ	1	入院時情報連携加算Ⅱ	0
退院・退所加算Ⅱ	0	通院時情報連携加算	10

② 研修・会議等

- 令和3年度東京都介護支援専門員・専門研修Ⅱ（前年度未実施分）4/18、5/7、6/11
- 東村山市居宅介護支援事業者連絡会総会（オンライン開催）4/1
- 居宅介護支援事業者連絡会主任ケアマネジャー部会総会（オンライン開催）4/1
- 令和4年度第1回東村山市介護支援専門員の資質向上研修会「介護支援専門員における面接技術の向上を目指す公開事例検討」（オンライン開催）6/13
- 居宅連絡会研修「ZOOMの使い方研修（基礎・応用）」（サンパルネ）6/27、7/11
- 居宅連絡会主マネ部会・ケアマネカフェ（ふれあい工房多目的スペース本町）8/23
- 居宅連絡会研修「インフォーマルサービス」（オンライン開催）9/14
- 令和4年度東村山市福祉用具貸与事業所等研修会（市民センター）9/26
- 居宅連絡会研修「主任ケアマネのためのスーパーバイズ教室～インシデント法を用いた事例検討会について～」（地域福祉センター）9/27

- 令和4年度介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修（居宅系サービス向け）」10/14～11/16 動画視聴、11/16 集合型研修
- 令和4年度第3回東村山市介護支援専門員の資質向上研修会・第一部「東村山市ケアマネジメント基本方針と必要事項について」、第二部「これから求められるケアマネジャーをみんなで考えよう」12/13
- 令和4年度第3回多職種連携研修会「地域を支える多職種連携ACP実践編」2/2
- 令和4年東村山市社会福祉協議会 感染症対策研修 3/27
- 居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・制度担当打合せ 5/9、7/13、8/18、9/1、9/21、10/6、2/2、3/2
- 所内・居宅介護支援事業職員会議 13回

2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

(1) 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

新型コロナウイルス感染拡大が未だ収束を見ない中、感染力の強いオミクロン株への置き換わりが進み、従業者が濃厚接触者となる、陽性者となるなどサービスの提供に困難を極めた。そのような状況下でも幸いなことにサービス停止や利用者への感染などは見られず提供体制を維持することができた。

介護の担い手である登録ヘルパーの人数は、依然、活動要請に対して慢性的に不足している。事業所としては、国による介護職員処遇改善支援補助金等を申請し、従事者のベースアップを図るなどして賃金改善に努めた。

介護度の内訳では、要介護と認定された方への訪問介護に比べて、要支援、事業対象者への介護予防サービス提供の割合の増加が止まらない状況である。その結果、サービス提供時間や内容が限定され経営的に厳しい状況を生んでいる。

①サービス内容

介護保険制度で要支援・要介護と認定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方を対象に、居宅サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活支援・介護サービスを提供することにより利用者の在宅生活を支援する。内容としては、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、外出付添、生活に関する相談助言等である。

②サービス提供時間

月曜日～土曜日（祝日を含む）の午前7時～午後7時の間

③実績

利用者数及びサービス提供時間数（時間数は時間：分で表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
訪問介護	人数	53	53	51	52	48	46
	時間数	436 : 45	422 : 50	437 : 40	387 : 15	381 : 35	358 : 25
訪問型	人数	44	43	43	44	48	50

サービス	時間数	196 : 20	188 : 05	190 : 35	190 : 00	234 : 20	239 : 55	
自費	人数	8	6	5	6	6	6	
	時間数	25 : 30	22 : 00	19 : 00	15 : 00	26 : 30	20 : 00	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	人数	47	49	49	53	52	48	601人
	時間数	370 : 10	388 : 50	384 : 55	359 : 00	319 : 30	352 : 15	4,599時間10分
訪問型サービス	人数	50	47	49	46	46	46	556人
	時間数	218 : 15	207 : 40	218 : 00	202 : 40	184 : 45	208 : 50	2,479時間25分
自費	人数	9	9	6	5	3	6	75人
	時間数	25 : 00	36 : 00	33 : 30	15 : 30	19 : 00	19 : 00	276時間00分

※自費の利用者は訪問介護又は訪問型サービスの利用者を含む

訪問介護員稼働実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託	4	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	3	43
登録	25	26	26	27	25	26	26	26	26	24	26	24	307
合計	29	30	30	31	28	29	29	29	30	28	30	27	350

※嘱託の人数にはガイドヘルパー派遣事業の嘱託職員1名を含む

④職員研修

訪問介護員内部研修会の開催

回	月/日	内 容	参加者数
第1回	7月	ヘルパー心構え（グループワーク） 7月4日～7月15日の間、3～4人のグループ単位で8回に分けて実施した	20人
第2回	12月 17日	「認知症の基礎～医療の視点から」 東京都登録講師派遣事業講師（助産師・看護師）中野 久美先生	13人
第3回	2月～ 3月	自己評価・自己目標設定（虐待の芽チェックリストも同時実施）を2月20日～3月20日にかけて課題提出型で実施した	23人

市および訪問介護事業者連絡会主催の研修

研修・講習会	月/日	人数
「介護予防ケアマネジメントマニュアル」事業者説明会	4/28	2人
介護技術「おむつの選び方と正しい使い方」（動画視聴）	7/1	16人

管理者、サービス提供責任者研修等

研修・講習会	月/日	人数
糖医会「糖尿病医療介護連携勉強会」	8/21	2人
令和4年度介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修（居宅系サービス向け）」	11/16	1人
介護サービス事業者支援研修「介護サービスにおける認知症利用者のケアについて」（動画視聴）	12/15 ～ 2/28	3人

⑤ヘルパー交流会の開催

内 容	月/日	人数
パン教室（くまの食堂）と会食、懇談	1/22	10人

⑥会議

会 議 名	開催回数	内 容
ケース会議（サービス担当者会議）	99回	利用者へのサービス内容の見直し、検討等
チーフヘルパー会議	16回	訪問介護事業所の運営に関する連絡調整等

⑦実習生の受入

受入大学、内容等	人数	期間
白梅学園大学3年生・介護実習	2名	6月6日～6月17日の期間中、各5日間

⑧その他

- 登録ヘルパーへの被服等の支給（モバイルファン、UVカットパーカー）
- 登録ヘルパーに配布している感染予防対策キットの補充
- 健康診断の実施（嘱託職員3名、非常勤職員22名）
- 東村山市訪問介護事業者連絡会に加入し、サービス提供責任者部会、役員会に参加
訪問介護事業者連絡会総会（4/1、オンライン）
- インフルエンザ予防接種補助（非常勤職10名）
- 福祉だより12月号特集ページ「住み慣れたご自宅での生活を支えます訪問介護事業」
- 令和4年東村山市社会福祉協議会 感染症対策研修 3/27

3 ガイドヘルパー派遣事業（身体障害者居宅介護事業）

ガイドヘルパー派遣事業は視覚障害者（児）を対象に、日常生活上必要な外出における付き添いと、文書等の代読・代筆、買い物等の介助を行うために、ガイドヘルパーを派遣する事業。

この事業は、市が実施する地域生活支援事業の「移動支援事業」と、障害者総合支援法による「介護給付費に位置づけられた同行援護と居宅介護」に区分される。また、65歳未満の利用者の通院は居宅介護で対応、65歳以上の利用者の通院は、介護保険制度が優先適用される。

移動支援については、利用者の国制度（同行、居宅）への移行がほぼ完成しつつあるためか実績はごくわずかな時間数に留まった。新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中で同行援護や居宅介護の実績も昨年度同様のほぼ横ばいが続いている。その中で、担い手となる登録ガイドヘルパーの確保が喫緊の課題となっている。その一環で国補助金である福祉・介護職員臨時特例交付金等申請し、従事者のベースアップ等賃金改善に努めた。

（1）ガイドヘルパーの利用に関する相談及び派遣調整

- ①利用契約者数 31名

②ヘルパー登録者数 22名

③派遣件数・派遣時間

移動支援（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等） (回/時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	6
時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.5	2.5	7.5	0.0	0.0	0.0	14.5

同行援護（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	147	140	136	124	106	135	127	126	116	112	117	128	1514
時間	342.0	302.5	303.0	235.5	241.0	294.0	273.0	316.0	258.5	265.0	287.0	290.5	3408.0

居宅介護（通院、リハビリ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	45	46	47	50	53	43	46	34	43	37	31	34	509
時間	106.0	115.5	123.0	133.5	134.5	104.0	128.0	69.5	102.5	100.5	81.5	83.0	1281.5

④研修等

ガイドヘルパー派遣事業では、登録ガイドヘルパーの資質向上のために業務報告会と現任者研修をそれぞれ年2回実施している。今年度、事務報告は書面配布により、研修は、少人数によるグループ単位で感染対策を行いながら実施した

I) 業務報告会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
業務報告会① （書面開催）	5月20日配布	令和3年度年度業務報告	21名
業務報告会② （書面開催）	10月20日配布	令和4年度上半期業務報告	21名

II) 現任者研修会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
第1回現任者研修会 （グループワーク）	①6月20日 ②7月15日	5～6名の小グループ単位で、利用者とのコミュニケーション、ハラスメントなどをテーマにディスカッションを実施	11名
第2回現任者研修会 （グループワーク）	①12月9日 ②12月13日	障害者虐待防止法の動画を視聴し、内容にある小さな出来事をもとにグループディスカッションを実施	16名

III) 虐待防止研修

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
令和4年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修（障害者福祉施設等職員コース）	8月26日～9月16日	障害者虐待の問題について、障害者福祉施設等の管理者、従事者の理解を深める	1名

障害者虐待防止研修・伝達研修（再掲）	① 12月9日 ② 12月13日	第2回現任者研修として実施	16名
--------------------	---------------------	---------------	-----

○令和4年東村山市社会福祉協議会 感染症対策研修 3/27

4 ふれあい事業

ふれあい事業は、一円貨募金を財源に、公的な制度の隙間を埋めるサービスとして当協議会が独自に取り組んでいる事業であり、社会福祉法人が実施する「地域における公益的な取組」に位置付けることができる。

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らしの虚弱な高齢者を対象に、安否確認を行うため、東京ヤクルト販売（株）に委託して乳酸菌飲料の配布を行った。訪問日は、月曜日、水曜日、金曜日の週3回。

①利用者の状況

○登録者数：86名（令和5年3月末現在） ◇新規登録者；5名

○取消者；7名

②延べ訪問回数：7,419回

③安否確認活動：24件

業者からの連絡を受け、利用者の緊急連絡先、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの関係機関、地域の民生委員等と連絡をとり、安否確認活動を24回行った。

安否確認の結果は、①呼鈴が聞こえない、気づかない13件 ②外出9件 ③取り忘れ1件 ④入院1件であった。

(2) ひとり暮らし高齢者等ふれあい電話訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の緩和を主な目的として、電話訪問員（7名）が週に1回電話による訪問をして、話し相手になっている。利用者からの相談に関しては、電話訪問員や担当職員が関係機関等へ連絡をして対応を行った。

①利用者の状況

○登録者数：28名（令和5年3月末現在） ○新規登録者；6名 ○取消者；7名

②延べ訪問回数：1318回

③付帯するケース活動：22回

電話訪問員研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度も回数を減らしながら電話訪問員同士の情報交換、懇談といった内容で実施した。

利用者との電話訪問員との交流会については、新型コロナウイルス感染の収束が見られないため年度当初に中止を決め、希望者に対して電話訪問員による個別の交流訪問を行った。コロナ禍、利用

者の入れ替わりが進みふれあい電話訪問交流会を経験したことのない利用者も約半数を占めるようになった。

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 聴覚障害者に関する相談・意思疎通支援

聴覚障害者が安心して社会生活を送れるように様々な相談を受け、必要な情報を手話で提供し、電話通訳や持参した書類等を手話で説明した。窓口だけでなく、オンラインによる相談もあった。

また、市や関係機関とも連携し利用者の生活支援を行った。福祉的課題を抱える聴覚障害者へは、基幹相談支援センターの相談支援専門員や居宅介護支援事業所のケアマネージャー等と連携しつつ支援した。市での申請手続きやトラブル解決に関しては、市役所の手話通訳者設置や、各課の窓口と連携を図り、解決につなげた。聴覚障害者の勤務先、各福祉関係、介護関係の事業所との連携にも努めた。

①月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
相談	38	50	48	64	47	51	59	50	55	52	55	39	608	582

②利用内容と件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	13	26	24	21	16	22	27	26	22	33	25	24	279
女	24	24	24	43	31	29	32	24	33	19	30	15	328
他機関等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	608												
健康問題	1	7	8	16	17	8	18	10	5	4	13	2	109
労働問題	1	8	7	4	2	9	1	3	6	4	4	1	50
福祉	8	10	13	12	11	12	15	7	6	10	11	9	124
生活	4	10	9	8	3	3	3	7	12	11	14	4	88
家族	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0	7
行政	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	1	7
家計	5	1	3	3	2	3	3	2	0	2	0	0	24
IT	4	6	6	5	6	2	1	4	6	1	8	2	51
その他	15	18	24	24	13	26	26	19	31	29	13	23	261
合計	38	62	70	74	55	66	68	53	67	61	65	42	721

(2) 手話通訳者の派遣・調整

聴覚障害者個々人の持つコミュニケーション技術等を勘案しながら通訳者を調整した。利用者の高齢化に伴い、介護サービス関係の通訳が増加した。また、オンラインによる市長メッセージや議会報告会（幹旋通訳）など、聴覚障害者が対面でない通訳現場も日常的になった。

①月別派遣件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
制度利用件数	53	40	48	57	52	53	55	62	52
斡旋通訳件数	0	2	3	1	2	0	0	2	0
	1月	2月	3月	合計	前年度				
制度利用件数	52	63	62	649	662				
斡旋通訳件数	0	4	0	14					

※うち東京手話通訳等派遣センターの利用数は44件

②利用者・登録通訳者数

制度利用者数	個人 30 名 (男 12、女 18)	市 10 課 +3 団体
登録手話通訳者数	15 名 (男 1、女 14)	

③利用内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生命と健康	24	17	23	29	29	19	24	20	21	19	24	27	276
権利保持	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
行政	0	0	0	0	0	1	0	6	5	6	10	3	31
福祉	10	8	7	9	7	9	7	10	6	8	10	7	98
労働	1	1	2	0	0	3	1	1	3	2	1	2	17
住居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
教育	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
文化	2	2	4	3	3	3	2	1	2	1	1	3	27
人間関係	1	3	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	13
団体会議	4	0	0	4	2	7	5	4	4	0	0	2	32
その他	10	9	11	10	8	11	14	19	9	15	15	17	148
合計	53	40	48	57	52	53	55	62	52	52	63	62	649

(3) 登録手話通訳者の資質向上

①登録手話通訳者研修会

毎月1回の研修会の他、外部講師を招いての研修を3回行った。

(4) 手話通訳者等の養成

毎年、手話奉仕員及び手話通訳者の養成を目的とした手話講習会を開催している。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響による一部延期・休止を余儀なくされたが、開催時間・会場の変更、また ZOOM の使用などの対応により、各クラスとも全回数の講習を行うことができた。

①手話講習会運営委員会

手話講習会の進捗状況や課題の検討、次年度の講師選定、通訳応用クラスおよび通訳養成クラス受講試験問題作成等、行った。

②手話講習会開催曜日・時間・場所・受講者数

	クラス	開催日時	場所	受講者数	修了者数
i)	入門（昼）	（火） 10:00～12:00	市民センター	19名	15名
i)	入門（夜）	（火） 19:00～21:00	社会福祉センター	25名	18名
ii)	基礎	（水） 19:00～21:00	市民センター	13名	10名
iii)	通訳応用	（土） 10:00～12:00	社会福祉センター	5名	4名
iv)	通訳養成	（金） 19:00～21:00	社会福祉センター	3名	3名

※入門クラス、基礎クラスにおいては、8月下旬に休止期間を設け、新型コロナウイルスの感染防止に努めた。

③講師・アシスタントのための学習会等を開催する。

④東村山市手話通訳者登録試験検討委員会

市障害支援課が開催する試験検討委員会に参加し、試験の実施について検討した。

（５）中途失聴・難聴者の支え手の育成

中途失聴・難聴者とともに学ぶコミュニケーション講座

「～聞こえないことについて話そう・学ぼう～」

2月24日（金）～3月10日（金） 各回午前10時～12時 申込者：17名

会場：社協地域福祉活動室

講師：NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会より派遣

回	テーマ	講師
1	（講演）「聞こえづらい」ということについて	宇田川 芳江 氏
2	手話体験① （自己紹介、挨拶等）	宇田川 芳江 氏
3	手話体験② （前回の復習、数字、時間等）、懇親会	石川 千鶴 氏

（６）会議等

①市・障害支援課との定例協議

4/22、5/30、7/1、9/12、10/31、12/1、1/30 計7回行った。

②東村山市意思疎通支援事業連絡調整会議

書面開催1回、対面開催12/8 計2回開催

③手話通訳利用者懇談会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

④聴覚障がい者への支援力の向上を目的に、意思疎通支援事業関係者向け研修等研修に参加。

6 移送サービス事業

社協の会員で、在宅車いす利用者と視覚障がい者を対象に、移送支援を行った。

予約調整をスムーズに行うため、運行調整担当職員を配置し、利用者の更なる利便性の向上に努めた。登録者数は124名（令和5年3月末現在）

(1) 移送サービス調整・運行

下表のとおり移送車の運行を行った。(前年度利用件数：1,177件)

①月別運行件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者実数	33	37	33	35	34	40	37	41	38	38	38	37	441
利用件数	102	95	103	107	111	111	107	102	127	107	116	117	1,305

②利用内容

	通院	入退院	通所	その他
件数	976	30	53	246

※その他：趣味、リハビリ、買い物等

7 車いす短期貸出事業

身体（下肢）が不自由な市民の方等を対象に車いすの貸し出しを行った。最近では、介護保険制度の谷間を埋めるようなニーズが増えてきていることに加え、貸出期間の延長を希望する方も増えている。

車いすの貸し出し状況及び在庫情報をデータ化し、適切な管理に努めた。

また、ボランティアグループ“ウィールの会”の協力により、車いすの清掃、簡単なメンテナンスを月2回程度実施した。

	貸出	返却
件数	142件（延長13件含む）	139件

IV 法人運営

1 組織運営事業

(1) 理事会・評議員会・役員会の開催、監事監査の実施

項目	実績			
役員等の現状	(令和3年6月29日改選 令和5年3月31日現在) 会長；大原喜美子 副会長；遠藤剛之、丹代了 常務理事；江藤佳子 会計担当理事；石橋茂 理事；鳥羽美香、水戸部瑞江、松江みち子、高橋照定、西岡修、 酒井雅司、小松健二、藤原公子、吉田謙、平岡和富 監事；小澤進、瀧口章江			
	顧問	監事	理事	評議員
	定数	2名	14～16名	28～32名
	現員数	2名	15名	28名
理事会	回数	日時・会場	出席	主な内容
	第1回	6/7(火) 10:00～11:16 社会福祉協議会	理事 12名 監事 2名	令和3年度資金収支補正予算の承認 令和3年度事業報告の承認 令和3年度資金収支決算の承認 個人情報保護規程の一部改正 役員等賠償責任保険契約の締結 令和4年度定時評議員会の招集
	第2回	10/18(火) 10:00～11:10 社会福祉協議会	理事 15名 監事 11名	令和4年度資金収支補正予算の承認 会員規程の一部改正 職員就業規則の一部改正 職員の育児休業の取扱いに関する要綱の一部改正 令和4年度第2回評議員会の招集
	第3回	1/17(火) 10:00～11:20 社会福祉協議会	理事 10名 監事 1名	理事候補者の推薦 評議員候補者の推薦 個人情報保護に関する方針の一部改正 非常勤職員の取り扱いに関する要綱の一部改正 感染症の予防及びまん延防止のための指針の制定 評議員選任・解任委員会委員の選任

評議員会	第4回	3/17(金) 10:00~11:38 社会福祉協議会	理事 8名 監事 2名	令和4年度資金収支補正予算の承認 令和5年度事業計画の承認 令和5年度資金収支予算の承認 再雇用職員の取扱に関する要綱の一部改正 再雇用職員の取扱に関する規則の一部改正 事業基金の取り崩し 退職給付引当資産の積み立て 居宅介護等事業運営規程の一部改正 東村山市基幹相談支援センター運営要綱の一部改正 手話通訳業務実施要綱の一部改正 障がい者虐待防止に関する指針の制定 高齢者虐待防止に関する指針の制定 障害虐待防止マニュアルの廃止 役員等賠償責任保険契約の締結 管理職の選任 令和4年度第3回評議員会の招集
	回数	日時・会場	出席	主 な 内 容
	第1回	6/24(金) 10:00~11:53 社会福祉協議会	出席 24名	令和3年度資金収支補正予算の承認 令和3年度事業報告の承認 令和3年度資金収支決算の承認
	第2回	10/28(金) 10:00~11:24 社会福祉協議会	出席 25名	令和4年度資金収支補正予算の承認 会員規程の一部改正
	第3回	3/28(火) 10:00~0:21 社会福祉協議会	出席 25名	令和4年度資金収支補正予算の承認 令和5年度事業計画の承認 令和5年度資金収支予算の承認 事業基金の取り崩し 理事の選任
役員会	会長・副会長・常務理事・会計担当理事で構成する定例役員会を毎月（8月を除く）開催した。			
監査等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・会計内部監査 5/23 10:00~12:00 内容；会計担当理事による令和3年度決算監査 11/25 10:00~11:00 内容；会計担当理事（代理者会長）による令和4年度上半期会計監査 ・監事監査 5/25 10:00~12:00 内容；令和3年度事業・決算監査 11/29 10:00~11:30 内容；令和4年度上半期事業・会計監査 			

(2) 部会・委員会の開催

項目	実績		
部会・委員会の活動			
①女性・子ども部会〔委員9名〕			
コロナ禍における子育ての状況を知るため、学習会及び施設見学を行った。			
月日	出席	内 容	
1/26	8名	講 義	コロナ禍における『ころころの森』の現状について 講師：ころころの森 施設長 阿部和子氏
②心身障害者（児）部会〔委員10名〕			
コロナ禍での近況、意見交換を行った。			
月日	出席	内 容	
2/15	7名	会 議	コロナ禍での障がい者の方々の現状について（意見交換）
③高齢者部会〔委員10名〕			
コロナ禍で数年ぶりに開催するにあたり、情報交換を行った。			
月日	出席	内 容	
1/16	5名	会 議	高齢者を取り巻く環境と現状について（情報交換）
④小地域福祉活動部会〔委員9名〕			
コロナ禍における各町の状況について、情報交換を行った。			
月日	出席	内 容	
2/7	6名	会 議	コロナ期間中の各町の小地域福祉活動について（情報交換）
⑤福祉だより編集委員会〔委員6名〕			
年5回の発行を通じ、市民に向けて社協事業の広報に努めた。			
月日	出席	内 容	
5/24	3名	福祉だより 7/1（第223号）の企画・編集	
8/22	3名	福祉だより 10/1（第224号）の企画・編集	
10/25	4名	福祉だより 12/1（第225号）の企画・編集	
1/18	3名	福祉だより 3/1（第226号）の企画・編集	
3/7	3名	臨時編集会議、今後の福祉だよりについて	
3/22	3名	福祉だより 5/1（第226号）の企画・編集	

(3) 会員制度の啓発、会員拡充

新規加入の方を対象に今期作成した社協パンフレットを新規セットに同封し、社協のPRに努めた。現在加入してくださっている方々には、感謝の気持ちを伝えるとともに、会員加入依頼時に事業報告リーフレットと概要版を配布し、社協の活動の見える化をはかり、継続していただけるよう働きかけを行った。

令和4年度 会員加入状況	区 分		会費額 (1口)	令和4年度		令和3年度	
				会員数	金額	会員数	金額
	正会員	個人	500円	4,940	4,048,000	4,955	4,055,500
		団体	1,000円	121	560,000	128	594,000
	賛助 会員	一般賛助	1,000円	132	199,000	140	184,000
		特別賛助	5,000円	60	435,000	65	460,000
			5,253	5,242,000	5,288	5,293,500	
会員加入率 6.9% (令和3年度7%) 東村山市世帯数 75,563世帯							
地域福祉大会 の開催	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、申込制とし、整理券を発行、当日入口にて検温、マスク着用を徹底し、二部入れ替え制とした。</p> <p>○4月16日(土) 第一部 10:30~11:45 / 第二部 13:00~15:15 参加者:226名(延べ人数・職員を除く) 内容:<第一部></p> <p>ア)表彰・感謝状贈呈 福祉協力員15期;2名、福祉協力員10期;3名 福祉協力員5期;9名、高額寄付;6名(個人・団体) ボランティア活動功労;5件、福祉協力店永年活動;2店舗</p> <p>イ)第5次地域福祉活動計画(WE♥東村山プラン)中間報告会 動画上映 <第二部> 映画上映「武士の献立」</p>						
会員制度啓発 会費募集の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・会員ニュース発行 6,000部 メモ帳発行 6,000部 ※全会員対象に配布。 ・新規会員や未加入の市民向けに社協パンフレットを配布。 ・福祉だより12月1日号で団体会員名、個人正会員数を掲載した。 ・まちづくり支援係と連携し、サロンに出向いて会費の使い道説明をおこなった。 ・昨年度に引き続き、コロナの感染状況をみながら個別集金については、福祉協力員会に依頼し、各町のやり方で市内各町の協力してくれる個人・団体正会員の方々に、会員加入のお礼・継続依頼文書と会員ニュース・前年度の事業報告を配布後に会費の依頼をし、会員募集の呼びかけに努めた。 ・事務局扱いの会員全員に口座引落のご案内を行い、会費納入の利便性向上に努め、34件の申込みがあった。 ・会員向けの講座を開催し、終活に関する基本的な内容を会員に周知し、エンディングノートの配布やファンドレイジングチームで進める「遺贈・相続財産寄付」のPRの場となった。 <p>○会員向け終活講座「終活のはじめかた」 日 時:10月25日(火)13:30~15:30 講 師:星野 哲 氏(立教大学社会デザイン研究所研究員/ライター (元朝日新聞記者)) 参加人数:29名(新規会員申込み 6件)</p>						

(4) 運営体制の整備 (発展・強化計画関連事業)

項目	実績
規程等の整備	定款、規程、要綱等の改正、所轄庁への届出等を行った。
法人経営管理業務の改善	昨年度に引き続き、会計事務所と顧問契約を締結し、適正な財務会計体制の確立と経営管理の改善に努めた。
職場内研修	ファンディング研修 ～ロジックモデル研修～ ※詳細は、東村山市社協ファンディングチーム (FRT) 開催欄に記載
局会議の開催	係間連携を強化し、組織の効果的な運営を図るために毎月局会議を開催した。

(5) 自己財源の確保 (発展・強化計画関連事業)

項目	実績
会員会費 (再掲)	会員数 ; 5,253 件 ※3月31日現在 (令和3年度 ; 5,288 件) 会費額 ; 5,242,000 円 ※3月31日現在 (令和3年度 ; 5,293,500 円)
寄附金・寄附物品	一般寄附金 ; 190 件 10,144,696 円 ※一円貨募金推進委員会からの寄付含む (令和3年度 ; 119 件 3,316,433 円) マンスリー継続寄付 ; 6 名 クレジットカード決済等をホームページ上で募集。 物品寄附 ; 車いす 3 台、生理用品、食料品等 (株) インソース「生理の貧困プロジェクト」より生理用品 216 パック
募金運動	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、年間三回の募金運動を実施した。特に今年度は、下記のような取り組みの工夫を行い、募金運動のPRに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを通じて、募金箱のデコレーションを行い、公民館等の各公共機関へ設置。 ・東村山市内社会福祉法人連絡会へ募金箱の設置を依頼し、様々な施設に募金箱を設置。 ・ボラチルに各募金の応援メッセージを依頼。テープに録音し、募金期間中広報車にて募金運動の呼び掛けや、街頭募金で活用。 ・各募金運動の啓発のため、福祉協力員会へポスター掲示やチラシ配布の協力を依頼。 ・社協内でも公用自転車への募金プレートの取付けと、PR用マグネットを公用自動車に貼り付け、募金運動の広報活動実施。 <p>①一円貨募金 一円貨募金推進委員会の事務局として募金運動を推進した。実施にあたり昨年度と同様、市内自治会へ事前に「一円貨募金アンケート調査」を実施。協力可能な自治会へ募金の依頼を行った。募金は、移送サービス事業、ふれあい訪問・ふれあい電話訪問事業、標準服リユース事業、応急小口資金貸付の対象の方への物資支援の一部の財源とし、募金運動の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 2,427,587 円 (令和3年度 ; 1,788,541 円) ・全特別賛助会員に募金の協力の依頼文書を送付。(協力件数 3 件) <p>②赤い羽根共同募金 東京都共同募金会東村山地区協力会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を推進した。中央募金会「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」に基づき、募金活動を安全に実施することを目指し、地域住民の方々の安心と信頼を担保できるよう努めた。 自治会等へは令和4年9月1日付で「共同募金運動へのご協力のお願い」を送</p>

	<p>付し、ご協力いただくのが難しい場合のみご連絡いただく形として、昨年度またはコロナ禍以前のご協力方法を前提とした依頼を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 1,717,814 円（令和3年度；1,266,331 円） ・街頭募金 <ul style="list-style-type: none"> i) 10月3日（月）17：30～18：30 東村山駅、久米川駅で実施 ii) 10月14日（金）11：30～12：30 いなげや東村山市役所前店・東村山秋津店、ヨークフーズで実施 ・地区協力会 <ul style="list-style-type: none"> i) 第一回 8月29日（月）10：00～11：00 出席16名 内容；①令和3年度共同募金運動報告、②令和4年度共同募金運動計画、③令和3年度地区協力会監事監査報告、その他 ii) 第二回 3月20日（月）13：30～15：10 出席13名 内容；①令和4年度共同募金運動報告、②令和5年度共同募金運動計画、③令和4年度配分推せん委員会報告、その他 <p>③歳末たすけあい運動 東京都共同募金会が主催する歳末たすけあい運動を推進した。コロナ禍で協力いただけなかった自治会が協力を再開してくださり、協力自治会が173件に増加した（令和3年度127件）。また、3年ぶりに街頭募金を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 2,589,640 円（令和3年度；2,284,138 円） ・街頭募金 <ul style="list-style-type: none"> i) 12月1日（木）17：30～18：30 東村山駅、新秋津駅で実施 ii) 12月16日（金）11：30～12：30 いなげや東村山市役所前店・東村山秋津店、ヨークフーズで実施
<p>配分推せん委員会の開催</p>	<p>東京都共同募金会東村山地区配分推せん委員会を開催した。昨年度の施設見学はオンライン開催だったが、委員会で検討した結果、今年度は現地見学となった。</p> <p>第1回 令和4年6月22日（水）10：00～11：15 出席7名 内容；地域配分の受付・評価方法の確認、受配団体見学について検討 施設見学会 令和4年9月12日（月）10：00～11：00 出席；配分推せん委員5名、地区協力会協力員3名 計8名 見学先；ひなたの道 内容；施設職員からの施設説明及び質疑応答</p> <p>第2回 令和5年1月23日（月）10：00～11：19 出席7名 内容；地域配分推せん額の決定、令和4年度赤い羽根共同募金 事務費交付額及び小地域福祉活動費報告、令和4年度 歳末たすけあい地域福祉活動費（令和5年度使用分）配分推せん計画の検討、令和4年度申請全都配分（A配分）推せん報告</p>
<p>東村山市社協ファンドレイジングチーム（FRT）の開催</p>	<p>(1)事務局会議の開催 自主財源確保のための仕組みや広報、自主事業の発展を検討するため、主に法人経営・まちづくり推進課職員7名で「東村山市社協ファンドレイジングチーム（FRT）」を構成し、検討を行った。（計8回実施） 内容；標準服リユース事業、移送サービス、FRの取り組み（仕組み、広報等）、研修会等について 他</p> <p>(2)ファンドレイジング（FR）実施の検討 ・久津摩 和弘氏（一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長）をアドバイザーに迎え、社協で取り組むファンドレ</p>

	<p>イジングについて打ち合わせをオンライン（Zoom）にて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施；毎月第2、4木曜 13:00～16:00 を基本に開催 ・FR の取り組み検討、ロジックモデル作成 他 <p>(3)研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FR の推進に向けて、課別に職員対象の研修を行った。 <p>○生活支援課</p> <p>①9月12日（月）16:00～17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容；社協がなぜFR に取り組むのか/取り組むことで何ができるのか 他 ・講師；事務局長、法人経営・まちづくり推進課長 <p>②9月22日（木）13:30～17:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容；FR の手法と効果、福祉業界におけるFR 他 ・講師；久津摩 和弘氏（COMMNET 理事長） <p>○法人経営・まちづくり推進課</p> <p>①9月20日（火）16:00～17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容；なぜ東村山市社協がファンドレイジングにとりくむのか/社協の財政状況、今後の方針について 他 ・講師；事務局長、法人経営・まちづくり推進課長 <p>②9月23日（金・祝）13:00～17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容；FR の手法と実践事例、ロジックモデルの作成 他 ・講師；久津摩 和弘（COMMNET 理事長） <p>○ロジックモデル研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人経営・まちづくり推進課職員（12名）が、3つのテーマに分かれ、ロジックモデルを作成。その成果の報告と意見交換を行った。 ・テーマ；災害、認知症高齢者、望まない社会的孤立・孤独 ・研修日；3月28日（火）17:00～19:00 地域福祉活動室 参加者 25名
自動販売機の設置	公共施設等に6台を設置 令和4年度収益453,457円 (令和3年度；483,913円)
その他自主財源の確保	広告収入；1,580,000円（令和3年度；1,581,000円） 印刷機使用料収入；657,950円（令和3年度；328,407円）

(6) 法人管理事務（発展・強化計画関連事業）

項目	実績
法人管理事務	<p>課会議や係会議を定期開催し、情報を共有して、よりよい事業運営が出来るように下記の事項について検討を行った。</p> <p>①人事・給与管理、社会保険、福利厚生・健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇給与・手当等の計算 ◇入退職手続 ◇労働者名簿の管理 ◇社会保険資格得喪手続 ◇健康診断予約 ◇産業医の配置 ◇マイナンバーの管理 など <p>②財務・その他管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇予算・決算 ◇経理事務 ◇金銭出納 ◇資産管理 ◇税務 ◇契約事務 ◇各種届出 ◇文書の收受・管理、建物・車両等の管理・点検 ◇建物防火管理 など

2 計画推進・調査・広報・連絡調整

(1) 第5次地域福祉活動計画（WE LOVE♥東村山プラン）の推進

項目	実績
推進委員会の開催	<p>(1)12月22日(木) 18:00~20:00 オンライン</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度活動報告(事務局会議、重点アクション①~④、広報活動) 今後の計画推進に関する意見交換(計画の評価、報告書の作成、助成金の活用など) <p>(2)3月30日(木) 18:00~20:00 地域福祉活動室</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回推進委員会以降の活動報告(事務局会議、重点アクション①~④、広報活動) 今後の計画推進に関する意見交換(計画の評価、報告書の作成、助成金の活用、6次計画への引継ぎ 他)/第6次計画の進捗状況
事務局会議の開催	<p>第5次地域福祉活動計画の推進について検討を行った。</p> <p>開催回数;12回/事務局職員;10名、 内容;計画の推進について(重点アクションの進め方、アクションPT、地域懇談会のあり方、広報等)、推進委員会の開催に向けて内容・進め方等の検討、計画の評価 他</p>
計画の推進	<p>地域住民、関係機関、社協職員等で構成されるアクションチームで検討し、コロナ禍でも出来る取り組みとして“5.5次計画”を掲げ、新たな意識のもと活動の推進を図った。</p> <p>○重点アクション①「あいさつ+ひと言運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町のあいさつ運動推進委員会等の組織をアクションチームと位置づけ、各町で活動を展開すると共に、団体間の情報交換を行った 「あいさつ運動代表者交流会」の開催 3回(8/24、12/7、2/17) 参加;青葉町、恩多町、野口町、萩山町、富士見町 内容;各団体の活動報告、情報交換、意見交換/新たなあいさつ運動の推進(ポスターの検討、ハツとして! Good あいさつ大賞の検討他) <p>○重点アクション②「町なか護美プロジェクト」</p> <p>活動名を「#護美プロジェクト(ハッシュタグゴミプロジェクト)」とし、実践的に取り組み、広報することで、活動を広く市民に知ってもらい、地域で取り組みが行えるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体;延べ27団体(福祉施設、見守り活動団体、都立高校、私立高校、福祉協力員会、福祉団体、自治会、商業団体など) 福祉施設と近隣の高校が連携して実施した地域もあった。 <p>○重点アクション③「子ども協力員」(愛称:ボラチル)の検討・募集</p> <p>ボラチル登録者8名が様々な活動に参加し、活躍できるよう支援した。 (延べ26名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> (活動)福祉協力員会茶話会・地域福祉大会・サロンひなぎく・「地藏まつり」のお手伝い、一円貨募金・共同募金 募金箱募金箱のデコアート、「ボランティアグループ一覧」表紙イラストボラ、一円貨募金・歳末たすけあい運動広報車用・HP用の音声録音、「おとのわ」・百才イベントのお手伝い、ころころの森・むさしの保育園 子どもの遊び相手、はぴたむ 障害児との交流、雑巾づくりプロジェクトのメッセージづくり、オンラインおためし講座サポート

	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公立中学校「ボランティア活動に対する取り組み」アンケート実施（6月） ・夏！体験ボランティア事業を通じてボラチル募集→2名加入（8月） ・上半期活動報告会を実施（10月） ・ボラチルニュースを発信（合計10回発行） <p>○重点アクション④「行きたくなる場所&場づくり」 情報交換ができるよう交流会を開催した。また、データベース作成や居場所の可視化などの検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン交流会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①福祉協力員会サロン交流会 8月5日（金）13:30～15:00 参加；10町・39名 内容：サロン動画視聴&再開秘話あれこれ、交流会 他 ②エリア別サロン交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・北部エリア 2月21日（火）10:00～ 社協 ・南部エリア 3月28日（火）10:00～ 栄ふれあいセンター ・中部エリア 3月29日（水）13:30～ 市民センター ・ヒントブック（改定版）の発行
計画のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉大会（4/16・土・中央公民館）にてEpisode2として報告（委員長・ボラチルの登壇、動画紹介） ・福祉だより（No.222・1面ボラチル紹介・4面会費の使われ方、No.223・2面事業報告、3面；重点アクションの紹介、No.224・1面#護美プロジェクト、No.226・1面場づくり応援ねっと） ・SNSを使った広報；Facebook、twitterにて取り組みの報告（随時）
第6次地域福祉活動計画策定に向けた準備	<p>(1)事務局会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画策定のための調査、データ収集、素案の作成など基礎部分を担い、策定委員と共に計画を作成する ・事務局；12名（事務局長、課長、法人運営、まちづくり支援係、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、権利擁護係職員） ・会議の開催；8回（8/24、9/15、10/24、11/30、12/19、1/6、2/8、3/15） ・主な内容； 事務局会議の持ち方、第6次計画策定スケジュール、策定委員の検討（選出区分／委員案／公募の委員、正・副委員長）、委員の確定・就任依頼、第1回策定委員会の進め方・振り返り、第2回策定委員会の進め方 <p>○策定委員長との打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定に向けて、策定委員会の進め方等について打ち合わせを行った。 オンライン（Zoom）にて3回実施。 ・主な内容；策定委員の確認、委員会の進め方、地域福祉計画との関連、社協発展強化計画との関係、第1回策定委員会振り返り、策定スケジュールの確認、第2回策定委員会の進め方 他 <p>(2)策定委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員 22名（選出；学識経験者、民生・児童委員協議会、ボランティアNPO法人、自治会、子ども分野・支援機関、障害者施設・支援機関、高齢施設・支援機関、一般公募、東京都社協、社協理事、社協評議員、行政、社協

	<p>事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回策定委員会 1月25日(水) 18:00~20:00 / 地域福祉活動室 ・内容; 委嘱状の交付、委員長・副委員長の選出、地域福祉活動計画について、地域福祉計画との関連性、グループワーク(5グループに分かれて)「6年後こんな東村山にしたい」をテーマに意見交換、第6次計画 策定スケジュール 他
--	---

(2) 第5次社協発展・強化計画(WE LOVE 社協プラン)の推進

項目	実績
発展・強化計画の進行管理	係ごとに年間事業実施計画を作成し、管理職と係長・主査職による局会議において進行管理を行った。
市・社協総合調整会議の開催	地域福祉の推進に向け、事業の在り方について総合的に調整することを目的として、総合調整会議を開催しているが、今年度は、コロナ禍のため対面での会議を開催せず、文書でのやり取りとなった。

(3) 広報(発展・強化計画関連事業)

項目	実績
福祉だよりの発行	・第222号(5/1)・第223号(7/1)、第224号(10/1)、第225号(12/1)、第226号(3/1)を発行
ホームページ・SNS	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ; 新着情報更新(随時)。 ・Facebook、Twitter; 「ぼんたくんのまちづくり日記—東村山市社協—」幅広い世代へ向けて活動計画だけでなく地域活動の情報提供を行った。
出前講座	<p>社協事業や福祉制度への理解を深めるために、職員の専門知識を活かして出前講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇9月17日「成年後見制度(地権含む)の説明」(NPO 空の間プロジェクト主催 終活セミナー) ◇11月16日「成年後見制度について」(東村山市民生委員・児童委員協議会 高齢福祉部会) ◇12月6日「成年後見制度の概要について」(山鳩会合同父母会) ◇12月10日「災害トイレの説明とスリッパ制作の実演(大岱小げんき広場、PTA とのコラボ)」(大岱フェスタ防災コーナー) ※協力: 東村山災害スタボラ会
その他広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・商店・事業所等の協力を得て、社協情報の広報紙やポスターの掲示、募金箱の設置等を行う「福祉協力店」事業を行い、社協活動のPRに努めた。 ・福祉だよりで「あなたのまちの“協力店”」の連載を行った。(令和5年3月末現在: 31店舗/新規加入; 2店舗) ・社協パンフレットを作成し、窓口に初めて来所する市民の方々や、社協新規会員等に配布し、社協の認知度促進に努めた。(作成部数 2,000部)

(4) 関係機関との連携・連絡調整

項目	実績
関係機関・団体との連携	(1) 東村山市高齢者福祉施設連絡会

東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を社会福祉協議会が担当した。

○会議の開催

- (1) 施設長会議 5回 (6/28、8/30、10/18、12/20、2/21) オンライン形式
 - ・内容；令和3年度事業報告、施設連絡会 会則の改正、委員の選出、令和4年度活動方針及び予算(案)の検討、東村山市への要請について、担当者会議報告、情報交換 他
- (2) 役員会 3回 (6/13、7/19 オンライン形式 (Zoom)、3/22 社協会議室)
 - ・内容；施設連絡会の運営について 他
- (3) 担当者会会議 6回 (5/23、7/25、9/26、11/28、1/23、3/27) オンライン (Zoom) 形式
 - ・研修会、となりのホーム (施設見学会)、お年寄りのてづくり作品展の担当に分かれ、事業について検討、実施をした。

○研修

- (1) 『コロナ対策と実践』～各施設のコロナの経験を今後活かそう！～
 - ・2月17日(金) 14:00～15:30/オンライン/参加者；25名(12施設)
- (2) 市民向け研修 (となりのホーム・市内高齢者施設見学会)
 - ・新型コロナウイルス感染予防のため中止。見学会に代わるものとして、施設紹介冊子「つながり」を作成。会員施設、地域包括支援センター、市内公共施設に配布。お年寄りのてづくり作品展で一般来場者に配布。

○お年寄りのてづくり作品展

- ・3月16日(木)～19日(日) 9:00～18:00 (最終日のみ 15:00 まで)
- ・東村山市立中央公民館 (1階展示室) 作品数；361点(施設 338点/地域 23点) 来場者；758名

○その他

- ・東村山市への要請活動。全会員施設が加盟する東村山市内社会福祉法人連絡会名義で、物価高騰に対する社会福祉法人への支援について東村山市に要望書を提出 (令和4年9月12日付)。

(2) 東村山市内社会福祉法人連絡会

市内 28 法人が加盟する連絡会の事務局を東村山市社会福祉協議会が担当した。

○全体会 3回

①6月14日(火) 15:00～

- ・2021(令和3)年度事業報告及び決算報告(案)、2022(令和4)年度事業実施計画予定、情報交換(各法人・施設での地域連携、災害時における法人連携など)、東京都地域公益活動推進協議会の活動状況

②10月14日(金) 15:00～

- ・2022(令和4)年度活動報告(2022.4.1～2022.9.30)、東京都地域公益活動推進協議会の活動状況、情報交換

③3月16日(木) 15:00～

- ・2022(令和4)年度活動報告(2022.10.1～2023.3.10)、2023(令和5)年度事業計画(案)・予算(案)、情報交換

○幹事会；5回 (4/19、5/17、6/17、7/12、9/2)

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 役員体制・確認、令和3年度東村山市内社会福祉法人連絡会事業報告（案）決算報告（案）、令和4年度連絡会事業実施計画予定（案）、法人連絡会選出委員、第1回全体会について 他 ※臨時役員会（9/6）物価高騰に対する社会福祉法人への支援について <p>○研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)社会福祉法人・事業所における広報・情報発信を考える 第2弾 <ul style="list-style-type: none"> ・講師；村井祐一氏（田園調布学園大学 人間福祉学部 学部長・教授） ・8月23日（火）15：00～17：00 オンライン（Zoom） ・参加；8法人／13事業所（17名） (2)「どうする！？どうなる！？社会福祉法人のこれから」 <ul style="list-style-type: none"> ・講師；宮田裕司氏（社会福祉法人堺暁福祉会／全国経営協制度政策委員長） ・10月14日（金）15:00～16:30 オンライン（Zoom） ・参加；15法人 <p>○地域公益活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)暮らしの相談ステーション；各法人窓口にて実施 (2)お弁当お届け事業 <ul style="list-style-type: none"> ・8月8日（月）～8月31日（水） ※土日を除く17日間 ・利用者；22世帯、45名（小学生28名、中学17名） ・総配食数；延べ 566食 ・（調理）5法人、（配達）6法人 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)東村山市「涼みどころ」設置協力 <ul style="list-style-type: none"> ・8月2日（火）～9月30日（金） 協力；4法人（7事業所） (2)物価高騰に対する社会福祉法人への支援について（要請活動） <ul style="list-style-type: none"> ・9月13日（火）15:00～ 市長室 (3)「福祉のしごと 相談・面接会」 <ul style="list-style-type: none"> ・10月6日（木）午後1時30分～4時／サンパルネ ・出展；7法人、参加者；15名
--	---

(5) 実習受入

項 目	実 績
実習生受入	<p>社会福祉士を目指す学生を対象に、社会福祉援助技術現場実習の受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症対策として従来の長期分散型は行わず、受入人数・期間を限定した形で実施した。5つの係に4日ずつ配属し、社協を包括的に理解できるプログラムにした。</p> <p>〔Ⅰ期・9月5日～10月11日・24日間〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸大学1名・都立大学1名、日本社会事業大学1名・文京学院大学1名 ・オリエンテーション（9/5）、グループワーク（3回）他 <p>〔Ⅱ期・10月21日（金）～11月25日（金）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都立大学1名・日本福祉教育専門学校1名・武蔵野大学1名、明星大学1名 ・オリエンテーション（10/21）、グループワーク（3回）他